



令和5年度  
教育委員会点検・評価報告書  
(令和4年度対象)

令和5年8月

春日部市教育委員会

## 目 次

I	はじめに	2
II	点検・評価の実施方法	3
III	点検・評価の結果	4
1	教育委員会の活動	4
	教育委員会委員の活動実績	6
2	教育委員会が管理・執行する事務（議案・報告等一覧）	7
3	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	17
	基本目標1 子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち	
	政策2 知・徳・体のバランスがとれた子どもを育てるまちをつくる	
	施策1 「生きる力」を育む学校づくりの推進	18
	施策2 一人ひとりを大切にした教育の推進	24
	施策3 充実した学校環境づくりの推進	27
	政策3 思いやりの心と夢をもった青少年を育てるまちをつくる	
	施策1 青少年教育の推進	36
	基本目標3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち	
	政策2 一人ひとりの個性と人権が尊重されるまちをつくる	
	施策1 人権を尊重するまちづくりの推進	38
	政策3 だれもが学べ、地域に生かせるまちをつくる	
	施策1 社会教育の充実	40
	施策2 生涯学習の振興	51
	政策4 文化・芸術や郷土の歴史を大切にするまちをつくる	
	施策1 文化・芸術の創造と振興	53
	施策2 郷土の歴史と文化遺産の保護と活用	55
	政策5 スポーツ・レクリエーションを楽しめるまちをつくる	
	施策1 スポーツ・レクリエーション活動の推進	58
IV	学識経験者による意見	63

## I はじめに

今日、教育を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中、地域の実情に応じた教育行政を展開していくためには、地方教育行政を中心的に執行する教育委員会がその役割を発揮し、責任を果たしていくことが改めて求められている。

春日部市教育委員会では「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、「地教行法」という。）の規定により、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表している。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図っている。

本年度も、前年度実施した事務事業の点検及び評価の結果並びに学識経験者からいただいたご意見等を踏まえ、このたび、教育委員会の点検及び評価を実施し、報告書にまとめた。

春日部市教育委員会教育長		鎌	田	亨
同	教育長職務代理者	水	沼	章文
同	委員	金	森	良泰
同	委員	岡	田	新司
同	委員	秋	山	早苗

### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 点検・評価の実施方法

### 1 実施方法

教育委員会の運営状況及び施策・事業の取組実績等を取りまとめ、教育委員会が自己評価を行った後、点検・評価の方法や結果について、学識経験者3人をもって組織する春日部市教育委員会事務評価委員会からご意見をいただいた。

#### 【春日部市教育委員会事務評価委員会】

(敬称略)

委員区分	氏名	役職等
委員長	濱本 一	共栄大学教育学部学部長
委員長職務代理者	金井 俊二	元春日部市立豊春小学校長
委員	白濱 容麗子	元春日部市生涯学習地域推進員

### 2 対象年度

令和4年度とする。

### 3 評価項目

評価項目については、地教行法で規定されている「教育に関する事務の管理及び執行の状況」を大きく三項目に区分し、「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理・執行する事務」及び「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」の管理及び執行状況について、点検・評価を行うこととした。

#### ① 教育委員会の活動

教育委員会の会議運営状況・公開状況等を6つの中項目に分け、教育委員会の活動状況について点検・評価を行った。

#### ② 教育委員会が管理・執行する事務

地教行法第25条及び春日部市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条の規定に基づき教育委員会自らが管理・執行することとされている事務を会議ごとにまとめ、審議状況等について点検・評価を行った。

#### ③ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

第2次春日部市総合振興計画において教育委員会の施策として体系づけられた施策ごとに、各事務事業の取組実績を基に今後の課題を分析、検討した上で、点検・評価を行った。

### Ⅲ 点検・評価の結果

#### 1 教育委員会の活動

##### (1) 教育委員会の会議運営に関すること

月1回の定例教育委員会会議を12回開催した。定例会に合わせ、市長との協議・調整を行う総合教育会議を3回実施した。

また、会議での審議をより一層充実させるため、各定例教育委員会の終了後に、各施策の説明や行事等の進捗状況の報告、意見交換を行う「教育委員会委員と執行部の勉強会」を実施し、教育課題等についての認識の共有化を図った。

##### (2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信

会議の1週間前に開催案内を市ホームページに掲載した。

市ホームページに「教育委員会点検・評価報告書（令和3年度対象）」や「春日部市の教育」、「教育行政の基本方針と重点施策」を掲載したほか、教育委員会独自のホームページで情報発信を行った。

また、平成31年1月分から会議録をホームページに掲載し、公開している。

##### (3) 教育委員会と事務局との連携に関すること

会議開催4日前までに教育委員会委員あて議案書等を配布し、議案内容等の説明を行い、委員が事前に内容等を把握できるよう情報提供に努めた。

また、「教育委員会委員と執行部の勉強会」の実施により、事務局との連携を深めることができた。

##### (4) 教育委員会と市長の連携に関すること

令和4年7月に「令和4年度第1回春日部市総合教育会議」を、春日部市役所本庁舎2階第2委員会室で実施し、未来を担う子どもたちの学力向上について意見交換を行った。

令和4年10月に「令和4年度第2回春日部市総合教育会議」を、教育センター2階視聴覚ホールで実施し、令和5年度組織機構改革、令和5年度教育行政の重点施策部活動（地域移行）について意見交換を行った。

令和5年2月に「令和4年度第3回春日部市総合教育会議」を、春日部市役所本庁舎2階市長公室で実施し、教育に関する大綱（案）、学校プール、スポーツ施設について意見交換を行った。

##### (5) 教育委員会委員の自己研鑽に関すること

例年、行政視察を行い、視察終了後、勉強会において視察の意見交換を行うとともに、各種研修会や講演会に出席し、自己研鑽に努めた。

◎教育委員会委員行政視察（中止）

◎その他の研修等

- ・ 埼玉地区教育委員会連合会総会（書面）
- ・ 埼玉県市町村教育委員会連合会総会

- ・埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会
- ・埼玉葛地区教育委員会連合会
- ・埼玉葛地区教育委員会連合会・東部地区教育長協議会合同研修会

## (6) 教育委員会委員の学校及び教育施設訪問に関すること

例年、教育施設訪問等を行っているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、やむなく中止した。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、学校行事（研究委嘱校研究発表会、運動会・体育祭、卒業式）や社会教育事業（二十歳を祝う会）等に出席し、各施設を訪問した。

### 評 価

開かれた教育委員会として、市のホームページで春日部市の教育、教育行政の基本方針と重点施策、会議録等を公開するほか、教育委員会独自のホームページで情報発信している。今後もホームページを見る人にとって、より見やすく、分かりやすくなるよう改善を図っていきたい。

執行部との勉強会では、教育長の行動記録、教育委員会委員の各種会議報告、各施策の説明や各担当課の事務事業の進捗状況等について、報告・意見交換を行うことにより、教育長及び事務局と共通認識を持つことができた。今後も、勉強会を通じて、事務局との連携を深めるとともに、教育課題等についての理解を深めるための学習の場として活用していきたい。

市長と教育委員会の協議・調整を行う総合教育会議は、これまで年2回の実施であったが、令和4年度は年3回実施した。その中では、令和5年度教育行政の重点施策、子どもの学力向上、スポーツ施設等について意見交換を行い、市長との連携をより深めることができ、有意義であった。

行政視察や教育施設訪問については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、やむなく中止となったものが多かったが、今後、教育行政の推進に係る取組を順次再開していきたいと考えている。

## 教育委員会委員の活動実績

月	主な行事	主な会議
4月	○転入・新採用校長着任式 ○転入・新採用教職員着任式	○年度当初小・中学校等校長研究協議会 ○定例教育委員会
5月	○市内中・義務教育学校体育祭視察	○定例教育委員会
6月	○中学校訪問 (教科書展示会、タブレット端末を使用した授業見学)	○定例教育委員会
7月	○春日部市教育委員会表彰式	○定例教育委員会 ○総合教育会議 ○埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会
8月		○定例教育委員会
9月	○市内小・義務教育学校運動会視察	○定例教育委員会
10月	○市内小学校運動会視察	○定例教育委員会 ○総合教育会議
11月	○市教委委嘱研究発表会視察	○定例教育委員会 ○埼玉葛地区教育委員会連合会・東部地区教育長協議会合同研修会
12月		○定例教育委員会
1月	○令和5年二十歳を祝う会 ○市教委委嘱研究発表会視察	○定例教育委員会
2月	○市教委委嘱研究発表会視察	○定例教育委員会 ○総合教育会議
3月	○小・中・義務教育学校卒業証書授与式 (小学校22校、中学校11校、義務教育学校1校)	○定例教育委員会

## 2 教育委員会が管理・執行する事務

地教行法第 25 条及び春日部市教育委員会教育長に対する事務委任規則第 2 条の規定により、令和 4 年度は議案 52 件について審議し、53 件の報告を受け、2 件の協議を行った。

### 議案・報告等一覧

#### <4 月定例会>

**議案第 14 号 春日部市文化財保存活用計画協議会委員の委嘱について**

委員の欠員に伴う、委員の委嘱について審議した。

**報告第 9 号 行政財産の用途変更について**

春日部市立中野小学校の用途変更について、春日部市長と協議した結果について報告を受けた。

**報告第 10 号 春日部市学校施設長寿命化整備検討委員会要綱の制定について**

春日部市学校施設長寿命化整備検討委員会の設置に伴い、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。

**報告第 11 号 春日部市学校給食費補助金交付要綱の制定について**

第 3 子以上の学校給食費に相当する額の補助に伴い、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。

**報告第 12 号 春日部市社会教育委員会議提言書について**

春日部市社会教育委員会議から、地域活性化につながる社会教育についての提言書が提出されたことについて報告を受けた。

**報告第 13 号 春日部市生涯学習市民推進員の委嘱について**

委員の任期満了に伴う、委員の委嘱について報告を受けた。

**報告第 14 号 春日部市公民館印刷機、複写機及び電話機の利用による実費徴収要綱の制定について**

公民館の印刷機、複写機及び電話機の利用による実費徴収要綱において様式の押印廃止を行ったことに伴い、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。

#### <5 月定例会>

**議案第 15 号 上沖小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結について**

令和 4 年 6 月市議会定例会に上程する上沖小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結について審議した。

**議案第 16 号 春日部市学校給食費の管理に関する条例の制定について**

学校給食費に係る公会計制度の導入に伴い、新たに本条例を制定することについて審議した。

**議案第 17 号 春日部市社会教育委員の委嘱について**

委員の任期満了に伴う、委員の委嘱について審議した。

- 議案第 18 号 春日部市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱について  
委員の欠員に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 議案第 19 号 春日部市スポーツ推進審議会委員の委嘱について  
委員の任期満了に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 報告第 15 号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校の学校運営協議会委員の任命に係る専決処理について  
市内小・中・義務教育学校 20 校の学校運営協議会委員の任命についての報告を受けた。
- 報告第 16 号 児童生徒数・県費負担教職員数の推移について  
児童生徒数・県費負担教職員数の推移について報告を受けた。

<6 月定例会>

- 議案第 20 号 春日部市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について  
委員の欠員に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 議案第 21 号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校学区審議会委員の委嘱について  
委員の任期満了に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 議案第 22 号 春日部市社会教育委員の委嘱について  
委員の任期満了に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 議案第 23 号 春日部市公民館運営審議会委員の委嘱について  
委員の欠員に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 報告第 17 号 春日部市教育委員会が要綱で定める申請書等の押印の見直しに伴う関係要綱の整備に関する要綱の制定について  
申請書等の押印見直しに伴い、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 18 号 春日部市要綱（春日部市教育委員会所管分）で定める申請書等の押印の見直しに伴う関係要綱の整備に関する要綱の制定について  
申請書等の押印見直しに伴い、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 19 号 春日部市学校プールの効率的利用に関する方針策定庁内検討委員会要綱の制定について  
学校プールの効率的利用に関する方針を検討する委員会の設置に伴い、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 20 号 春日部市学校給食連絡協議会委員の委嘱について  
委員の任期満了に伴う、委員の委嘱について報告を受けた。
- 報告第 21 号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校の学校評議員の委嘱について  
市内小・中・義務教育学校 13 校の学校評議員の委嘱について報告を受けた。
- 報告第 22 号 春日部市美術展覧会開催事業実施要綱の制定について  
出品料を無料とする枠を設けたことに伴い、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。

- 報告第 23 号 春日部市視聴覚センター専門委員会委員の任命について  
委員の任期満了に伴い、委員の委嘱について報告を受けた。
- 報告第 24 号 春日部市国史跡神明貝塚保存活用計画策定庁内検討委員会要綱の廃止について  
春日部市国史跡神明貝塚保存活用計画策定に伴う、本要綱を廃止したことについて報告を受けた。
- 報告第 25 号 令和 4 年 6 月春日部市議会定例会について  
令和 4 年 6 月定例会市議会における教育委員会関係議案 3 件、12 人の議員からの一般質問について報告を受けた。
- 報告第 26 号 令和 4 年度春日部市一般会計（教育費）補正予算に係る専決処理について  
令和 4 年 6 月定例会市議会に提案する令和 4 年度春日部市一般会計補正予算に教育費補正予算を要求したことについて事務委任規則第 3 条の規定により専決処理したことの報告を受けた。

#### <7 月定例会>

- 議案第 24 号 春日部市学校給食センター条例施行規則の一部改正について  
春日部市学校給食費の管理に関する条例の制定に伴い、本規則を一部改正することについて審議した。
- 議案第 25 号 春日部市立図書館運営審議会委員の委嘱について  
委員の任期満了に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 議案第 26 号 春日部市市史編さん委員会委員の委嘱について  
委員の任期満了に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 議案第 27 号 春日部市スポーツ推進委員の委嘱について  
委員の補充に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 報告第 27 号 春日部市学校給食費の管理に関する条例施行規則の制定について  
条例の制定に伴い、新たに本規則（市長規則）を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 28 号 春日部市未来を育む奨学金提案事業審査委員会要綱の制定について  
二次審査委員会の組織の変更が生じたことに伴い、従来の要綱を廃止し、新たに制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 29 号 春日部市学校給食費支援事業補助金交付要綱の制定について  
補正予算の成立に伴い、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 30 号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校の学校運営協議会委員の任命に係る専決処理について  
市内小・中・義務教育学校 20 校の学校運営協議会委員の任命についての報告を受けた。

## <8月定例会>

### 議案第28号 令和4年度教育委員会点検・評価報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づき、令和3年度の教育委員会の事務の点検・評価を実施し、報告書としてまとめた「令和4年度教育委員会点検・評価報告書」について審議した。

### 議案第29号 春日部市有形文化財の指定について

建議書の提出があったことに伴い、春日部市有形文化財に指定することについて審議した。

### 議案第30号 第2次春日部市市史編さん事業計画（第2期）の諮問について

春日部市市史編さん委員会条例第2条の規定に基づき、第2次春日部市市史編さん事業計画（第2期）を諮問することについて審議した。

### 議案第31号 令和4年度春日部市一般会計（教育費）補正予算について

令和4年9月市議会定例会に提案する令和4年度春日部市一般会計補正予算に教育費補正予算を要求することについて審議した。

### 報告第31号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校の学校運営協議会委員の任命に係る専決処理について

市内小・中・義務教育学校1校の学校運営協議会委員の任命についての報告を受けた。

## <9月定例会>

### 議案第32号 令和5年度当初春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校教職員人事異動方針について

令和5年度当初春日部市立小・中学校等教職員人事異動の方針を定めることについて審議した。

### 議案第33号 令和5年度当初春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校教職員人事異動方針細部事項について

令和5年度当初春日部市立小・中学校等教職員人事異動方針細部事項を定めることについて審議した。

### 議案第34号 春日部市文化財保護審議会への諮問について

春日部市文化財保護条例第5条第3項の規定に基づき、文化財の指定を諮問することについて審議した。

### 報告第32号 令和4年9月春日部市議会定例会について

令和4年9月定例市議会における教育委員会関係議案2件、11人の議員からの一般質問について報告を受けた。

## <10月定例会>

### 議案第35号 春日部市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例に係る意見聴取について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき「春日部市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例」について市長から意見を求められたことに伴い、意見を付したうえで異議のない旨回答することについて審議した。

**報告第 33 号 春日部市市史編集委員の選任について**

委員の任期満了に伴う、委員の選任について報告を受けた。

**<11 月定例会>**

**議案第 36 号 春日部市教育委員会表彰規則の一部改正について**

大会規模や委員の任期などに関する選考基準を明確にすることに伴い、本規則の一部を改正することについて審議した。

**議案第 37 号 春日部市勤労者会館条例及び春日部市庄和勤労福祉センター条例の廃止について**

春日部市勤労者会館及び春日部市庄和勤労福祉センターの廃止に伴い、本条例の附則において公民館条例の改正を行うことについて審議した。

**議案第 38 号 令和 4 年度春日部市一般会計（教育費）補正予算について**

令和 4 年 12 月市議会定例会に提案する令和 4 年度春日部市一般会計補正予算に教育費補正予算を要求することについて審議した。

**報告第 34 号 春日部市学校給食用物資納入業者の登録に関する要綱の制定について**

公会計制度の導入に伴い、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。

**協議第 1 号 春日部市学校プールの効率的利用に関する方針（案）について**

春日部市学校プールの効率的利用に関する方針（案）について、協議した。

**協議第 2 号 春日部市文化財保存活用地域計画（案）について**

春日部市文化財保存活用地域計画（案）について、協議した。

**<12 月定例会>**

**議案第 39 号 春日部市教育委員会事務決裁規則及び春日部市公民館条例施行規則の一部改正について**

地区公民館長の事務見直しに伴い、規則 2 件の一部をそれぞれ改正することについて審議した。

**報告第 35 号 令和 4 年 12 月春日部市議会定例会について**

令和 4 年 12 月定例市議会における教育委員会関係議案 3 件、8 人の議員からの一般質問について報告を受けた。

**<1 月定例会>**

**報告第 1 号 春日部市学校給食費助成金交付要綱の制定について**

学校給食費の公会計を開始することに伴い、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。

**報告第 2 号 春日部市就学援助実施要綱の制定について**

学校給食費の公会計を開始することに伴い、旧要綱を廃止し、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。

**報告第 3 号 春日部市立学校における働き方改革基本方針について**

埼玉県教育委員会が「学校における働き方改革基本方針」を改定したことに伴い、本方針を改定したことについて報告を受けた。

**報告第 4 号 春日部市生涯学習推進本部要綱の制定について**

本部会員の異動に伴い、これまでの要綱を廃止し、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。

**<2 月定例会>**

**議案第 1 号 春日部市教育委員会事務局組織規則の一部改正について**

行政組織の改正に伴い、本規則の一部を改正することについて審議した。

**議案第 2 号 行政組織の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について**

行政組織の改正に伴い、本条例を制定することについて審議した。

**議案第 3 号 春日部市特別職の給与に関する条例及び春日部市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正について**

教育長の期末手当の規定の改正に伴い、本条例の一部を改正することについて審議した。

**議案第 4 号 春日部市教育委員会の権限に属する事務の委任に関する規則の制定について**

春日部市教育委員会の権限に属する事務の一部を市長部局の補助機関である職員に委任することに伴い、新たに本規則を制定することについて審議した。

**議案第 5 号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校職員服務規程の一部改正について**

県の職員の育児休業等に関する条例の改正に伴い、本規程の一部を改正することについて審議した。

**議案第 6 号 令和 4 年度春日部市一般会計（教育費）補正予算について**

令和 5 年 3 月定例市議会に提案する令和 4 年度春日部市一般会計予算に、教育費予算を要求することについて審議した。

**議案第 7 号 令和 5 年度春日部市一般会計（教育費）予算について**

令和 5 年 3 月定例市議会に提案する令和 5 年度春日部市一般会計予算に、教育費予算を要求することについて審議した。

**議案第 8 号 行政財産の用途変更について**

春日部市立中野小学校の用途変更について春日部市長より協議があったことに伴い、意見を付したうえで異議がない旨、回答することについて審議した。

**<3 月定例会>**

**議案第 9 号 春日部市教育委員会事務決裁規則の一部改正について**

事務局組織の変更に伴い、本規則の一部を改正することについて審議した。

**議案第 10 号 春日部市教育委員会が管理する個人情報の保護に関する規則の一部改正について**

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、本規則の一部を改正することについて審議した。

- 議案第 11 号 春日部市教育委員会表彰規則の一部改正について  
事務局組織の変更に伴い、本規則の一部を改正することについて審議した。
- 議案第 12 号 春日部市教育委員会文書取扱規程及び春日部市教育委員会公印規程の一部改正について  
事務局組織の変更に伴い、規程 2 件の一部をそれぞれ改正することについて審議した。
- 議案第 13 号 令和 5 年度春日部市教育行政の基本方針・重点施策について  
令和 5 年度春日部市教育行政の基本方針・重点施策を定めることについて審議した。
- 議案第 14 号 春日部市教育委員会事務評価委員会委員の委嘱について  
委員の任期満了に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 議案第 15 号 教育財産の用途廃止について  
旧庄和北公民館の土地について、教育財産の用途を廃止し、春日部市長に引継ぎを行うことについて審議した。
- 議案第 16 号 春日部市学校給食センター条例施行規則の一部改正について  
学校給食費に係る公会計制度の導入に伴い、本規則の一部を改正することについて審議した。
- 議案第 17 号 春日部市学校給食センター運営委員会委員の委嘱に関する規則の一部改正について  
学校給食費に係る公会計制度の導入に伴い、本規則の一部を改正することについて審議した。
- 議案第 18 号 春日部市学校給食連絡協議会規則の一部改正について  
学校給食課の新設に伴い、本規則の一部を改正することについて審議した。
- 議案第 19 号 春日部市小学校・中学校給食運営委員会規程の一部改正について  
学校給食課の新設に伴い、本規程の一部を改正することについて審議した。
- 議案第 20 号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部改正について  
公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する法律の一部改正に伴い、本規則の一部を改正することについて審議した。
- 議案第 21 号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校の学校運営協議会委員の任命について  
委員の任期満了に伴う、委員の任命について審議した。
- 議案第 22 号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について  
委員の欠員に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 議案第 23 号 春日部市文化財保護条例施行規則の一部改正について  
博物館法の改正に伴い、規則の一部を改正することについて審議した。

- 議案第 24 号 春日部市郷土資料館条例施行規則の一部改正について  
郷土資料館に設置する職及び様式の見直しに伴い、本規則の一部を改正することについて審議した。
- 議案第 25 号 春日部市スポーツ推進委員の委嘱について  
委員の任期満了に伴う、委員の委嘱について審議した。
- 議案第 26 号 春日部市教育委員会職員の人事異動について  
令和 5 年 4 月 1 日付け、教育委員会事務局職員の定期人事異動について審議した。
- 報告第 5 号 春日部市教育委員会が要綱で定める要綱の見直し規定の改正に伴う関係要綱の整備に関する要綱の制定について  
要綱の見直し規定の改正に伴い、本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 6 号 春日部市教育委員会事務評価委員会要綱の制定について  
事務局組織の変更に伴い、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 7 号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校電話機の利用による実費徴収要綱の制定について  
事務局組織の変更に伴い、本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 8 号 春日部市学校プールの効率的利用に関する方針策定庁内検討委員会要綱の廃止について  
春日部市学校プールの効率的利用に関する方針の策定が完了したことに伴い、本要綱を廃止したことについて報告を受けた。
- 報告第 9 号 行政財産の処分について  
宮川小学校に隣接する土地の財産処分を行うことについて報告を受けた。
- 報告第 10 号 春日部市長の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正について  
学校給食費に係る公会計制度の導入に伴い、本規則を改正したことについて報告を受けた。
- 報告第 11 号 春日部市長の権限に属する事務の一部を春日部市教育委員会に委任する規則の一部改正について  
学校給食費に係る公会計制度の導入に伴い、本規則を改正したことについて報告を受けた。
- 報告第 12 号 春日部市学校給食費の減免に関する事務取扱要綱の制定について  
学校給食費に係る公会計制度の導入に伴い、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 13 号 春日部市いじめ問題対策連絡協議会規則の一部改正について  
事務局組織の変更に伴い、規則の一部を改正したことについて報告を受けた。

- 報告第 14 号 春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校の学校医の委嘱に係る専決処理について  
春日部市立小・中・義務教育学校 1 校の学校医を委嘱したことについて報告を受けた。
- 報告第 15 号 令和 4 年度活躍する春日部の子供たちについて  
令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 16 日までに、全国大会に出場した春日部の小学生、中学生について報告を受けた。
- 報告第 16 号 令和 4 年度春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校教職員の人事評価について  
埼玉県市町村立学校職員の人事評価に関する、最終評価結果について報告を受けた。
- 報告第 17 号 令和 5 年度当初教職員の人事異動について  
令和 5 年 4 月 1 日付け、教職員の定期人事異動について報告を受けた。
- 報告第 18 号 春日部市部落差別を解消するための同和教育の基本方針について  
部落差別解消推進法及び埼玉県部落差別解消推進条例の制定に伴い、本方針を改定したことについて報告を受けた。
- 報告第 19 号 春日部市放課後子ども教室事業実施要綱の廃止について  
行政組織の見直しに伴い、本要綱を廃止したことについて報告を受けた。
- 報告第 20 号 春日部市放課後子ども教室運営委員会要綱の廃止について  
行政組織の見直しに伴い、放課後子ども教室運営委員会要綱を廃止したことについて報告を受けた。
- 報告第 21 号 春日部市青少年学習支援事業実施要綱の廃止について  
国の会計検査が終了したことに伴い、本要綱を廃止したことについて報告を受けた。
- 報告第 22 号 春日部市立図書館指定管理者候補者選定委員会要綱の制定について  
事務局組織の見直しに伴い、これまでの要綱を廃止し、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 23 号 春日部市子ども読書活動推進計画策定庁内検討委員会要綱の制定について  
事務局組織の見直しに伴い、これまでの要綱を廃止し、新たに本要綱を制定したことについて報告を受けた。
- 報告第 24 号 春日部市文化財保存活用地域計画策定庁内検討委員会要綱の廃止について  
文化庁との協議が終了し、計画が確定したことに伴い、本要綱を廃止したことについて報告を受けた。
- 報告第 25 号 春日部市市史編集委員要綱の制定について  
事務局組織の見直しに伴い、新たに本要綱を制定したこと報告を受けた。
- 報告第 26 号 令和 5 年 3 月春日部市議会定例会について  
令和 5 年 3 月定例市議会における教育委員会関係議案 4 件、11 人の議員からの一般質問について報告を受けた。

NO	議 案 内 容	件数
1	教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること	6 件
2	教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること	17 件
3	教育委員会事務局及び教育委員会の所管に属する教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	1 件
4	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	1 件
5	予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	9 件
6	人事の一般方針を定め、懲戒を行うこと	2 件
7	法令又は条例に定めのある附属機関の委員を委嘱すること	14 件
8	文化財の指定及び解除に関すること	1 件
9	その他の議案	1 件
合 計		52 件

## 評 価

議案等については、法律及び規則に則って適切に付議され、遺漏なく審議を行うことができた。教育長専決処理された案件についても、的確に報告されていた。また、本年度においては定例会での協議案件が2件あり、活発な意見交換が行われた。今後も、勉強会を活用して付議前の案件の論点整理を行うとともに、教育委員会委員自らの問題提起や自己評価も合わせ、定例会での審議を、より一層充実していきたい。

議案等の公開の可否については、春日部市教育委員会会議規則に基づき適切に決定することができた。教育委員会が管理・執行する事務について、自ら点検及び評価を行うことにより、教育委員会の活動の課題や事務事業の詳細を把握することができ、有意義であった。

点検・評価を行った結果を踏まえ、より一層市民に対する説明責任を果たしつつ、今後の教育委員会委員としての活動や教育委員会の運営に生かしていきたい。

教育を取り巻く環境の変化に対応できるよう、情報を収集するとともに、教育委員会委員としての重責を認識し、常に問題意識を持って活動していきたい。

### 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

地教行法第 25 条及び春日部市教育委員会教育長に対する事務委任規則第 2 条の規定により教育長に委任する事務について、第 2 次春日部市総合振興計画の体系に従って評価を行うこととした。

第 2 次春日部市総合振興計画では、本市の将来像「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」を実現するために 7 つの「まちづくりの基本目標」が定められ、目標ごとに各施策が位置づけられている。

本報告書では、基本目標 1 の「子育て・教育」を構成する 4 の施策と、基本目標 3 の「市民参加・文化・スポーツ」を構成する 6 つの施策を合わせた、10 の施策について、「令和 4 年度の主な取組」と「今後の課題」に整理し、評価を行った。また、各施策に体系づけられた事務事業の令和 4 年度実績を施策ごとに掲載した。

#### 【第 2 次春日部市総合振興計画 前期基本計画の施策体系（抜粋）】

基本目標	政 策	施 策	掲 載 ページ
基本目標 1 子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち	1-2 知・徳・体のバランスがとれた子どもを育てるまちをつくる	1-2-1 「生きる力」を育む学校づくりの推進	18
		1-2-2 一人ひとりを大切にしたい教育の推進	24
		1-2-3 充実した学校環境づくりの推進	27
【子育て・教育】	1-3 思いやりの心と夢をもった青少年を育てるまちをつくる	1-3-1 青少年教育の推進	36
基本目標 3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち	3-2 一人ひとりの個性と人権が尊重されるまちをつくる	3-2-1 人権を尊重するまちづくりの推進	38
		3-3 だれもが学べ、地域に生かせるまちをつくる	3-3-1 社会教育の充実
	3-4 文化・芸術や郷土の歴史を大切にするまちをつくる	3-3-2 生涯学習の振興	51
		3-4-1 文化・芸術の創造と振興	53
【市民参加・文化・スポーツ】	3-4-2 郷土の歴史と文化遺産の保護と活用	55	
3-5 スポーツ・レクリエーションを楽しめるまちをつくる	3-5-1 スポーツ・レクリエーション活動の推進	58	

基本目標	1 子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち
政策	2. 知・徳・体のバランスがとれた子どもを育てるまちをつくる
施策	1. 「生きる力」を育む学校づくりの推進

#### 令和4年度の主な取組

- 各小・中・義務教育学校が推進している魅力ある学校づくりのための特色ある教育活動を支援し、各学校の教育実践を一層充実させるための基本計画「かすかべっ子 はぐくみプラン」の研究や事例収集を引き続き行った。また、「交流」を通して、「伝えあい 学びあい 育ちあい 思いあいがうれしい教室 うれしい学校」をめざした「春日部メソッド」の一層の浸透を図るため、指導主事が学校訪問する際に、その理念が指導に生かされているかという視点で指導を行った。
- 各学校でも感染対策を講じながら、様々な教育活動を進めてきた。
- 市内全ての児童生徒に配備した学習用端末を活用し、コロナ禍においても伝えあい学びあいを意識した学習の推進に取り組んだ。また、その成果を「春日部メソッド実践発表会」で発表させ、広く市内に周知することができた。
- 臨時休業の措置を行った際には、多くの学校でオンラインによる授業配信に取り組み、児童生徒の学びを支援してきた。
- 研究委嘱の推進として、市内の23校が研究委嘱を受け、学習指導法等を研究し、児童生徒の確かな力と、主体的な態度の育成を目指した。研究発表会は、動画配信等も活用しながら、集合型による研究発表会を行い、市内外へその成果と、動画配信と集合型の利点を生かした研究発表のスタイルを提示した。また、粕壁小学校は、文部科学省教育課程特例校の指定4年目となり、英語科についてさらなる研究を進めてきた。
- ALTを年間を通して配置したことにより、授業のみならず、休み時間や行事など生活の場で英語によるコミュニケーションを図ることができた。
- 「普通学級支援助手」を全ての小・中・義務教育学校に、「特別支援学級助手」を特別支援学級が設置されている全ての小学校に配置し、個に応じた、きめ細かな支援を行い、各学校の教育活動の充実を図った。
- 児童生徒が健康で安全な生活を営めるよう自転車のマナー向上、交通事故防止、不審者対策、熱中症予防、食物アレルギー対策、アドレナリン自己注射薬・AEDの使用方法などについて、市内小・中・義務教育学校へ周知徹底を図るとともに、各学校が実施する取組を支援した。
- 平成29年度に策定した「春日部市立中学校等部活動のあり方に関する方針」の定着に向けて「部活動の意義」、「適切な運営のための体制整備」、「適切な休養日の設定」等について徹底を図った。各校においては、限られた時間で効率的な活動を行った。また、部活動指導員を市内3校に配置し、専門的な技術を持つ指導者による効果的な指導を行うとともに、教職員の負担軽減にもつながった。
- 「図書ボランティア」、「安心安全ボランティア」などの「学校応援団」をはじめとした地域人材など、地域の教育力を積極的に活用した教育活動を推進した。また「凧づくり」や「神楽」など地域の方から伝統文化を学んだり、地域の行事に児童生徒が参加したりと地域に根差した学校づくりを各校で図った。
- 各学校とも「学校だより」、「ホームページ」の充実を図り、積極的に情報発信に努めた。特に全ての学校のホームページの規格を統一し、だれからもわかりやすい内容とすることが出来た。また、学校評議員、学校運営協議会委員等と学校の教育活動について協議を行うなど、開かれた学校づくりを一層推進した。令和5年度は、市内全小・中・業務教育学校に学校運営協議会が設置される。
- 江戸川小中学校、藤塚小学校において、特色ある教育活動として、水泳授業を地域のスイミングスクールと連携して実施し、専門的な指導により泳力の向上を図った。
- 学校プールの効率的利用に関して、学校プールのあり方の見直し、施設の現状把握、課題の整理、今後の対応方法などについて調査・検討を行い、「春日部市学校プールの効率的利用に関する方針」を策定した。

## 今後の課題

- 「春日部市小中一貫教育及び学校再編に関する基本方針」に基づき、小中一貫教育の推進及び学校規模の適正化について、協議が調った地域から段階的に再編を検討する必要がある。
- 学習指導要領の趣旨を理解し、今後も資質・能力を身に付けられるように指導していく必要がある。同時に全ての教科における基礎的・基本的な知識・技能の習得と、その活用による思考力・判断力・表現力などの育成を目指した指導法の工夫・改善について、引き続き支援を行うとともに、「かすかべっ子 はぐくみプラン」を各小・中・義務教育学校に浸透させ、本市における教育全体の充実・発展を図っていく必要がある。
- 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、教育活動を前に進めた。今後も、教育活動の中で感染症拡大防止に努めながら、児童生徒が心身ともに健康で、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を目指し、各種体験活動の一層の充実を図っていく必要がある。
- 引き続き、学校行事の精選・見直し等を行うとともに、1人1台端末等のICT環境を活用した個別最適な新たな学習指導の在り方を検討し、令和の日本型学校教育を推進していく必要がある。
- 一部の学校で導入している水泳授業を地域のスイミングスクールと連携して実施する専門指導について、他校への導入についても検討する必要がある。

## 評価

各学校と連携し、感染症対策を徹底しながら、子供たちの学びを進めるために、計画的に学校訪問・校内研修における指導を行い、春日部メソッドの定着及び充実に努めたことは評価できる。また、市の研究委嘱により、コロナ禍でも先行的な個別最適な学びの研究や協働的な学びの実践を進められたことは評価できる。

今後も、「個別最適な学び」「協働的な学び」により、令和の日本型学校教育の構築を目指し、児童生徒一人ひとりが「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」などを身につけ、持続可能な社会の創り手になることができるよう特色ある教育活動を展開し、魅力ある学校づくりを推進している各学校への指導と支援のさらなる充実に努めたい。市内の全ての小・中・義務教育学校において、地域の教育力を生かしながら魅力ある学校づくりのための特色ある教育活動が進められており評価できる。

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)
教育委員会運営事務	<p>3,370千円</p> <p>以下の取組などにより、教育委員会の円滑な運営と教育委員活動の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議は定例会計12回を開催（議案52件、報告53件、協議2件）</li> <li>・市長との協議・調整を行う総合教育会議（年3回）での審議をより一層充実させるため、各定例教育委員会終了後に、各施策の説明や行事等の進捗状況の報告、意見交換を行う「教育委員会委員と事務局の勉強会」を実施し、教育課題等についての認識の共有化を図った。</li> <li>・教育委員会行政視察、教育委員の学校及び教育施設訪問については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止</li> <li>・事務評価委員会会議3回開催、委員は3名</li> </ul>	学校総務課 (教育総務課)
教育総務事務	<p>16,963千円</p> <p>教育委員会の重要な施策の総合調整、組織、広報、職員の人事、サービス及び研修、庁用備品等の管理及び保管に関すること等の事務を行い、教育委員会事務局の業務運営の円滑・効率化に努めた。</p> <p>春日部市教育行政の基本を示した「春日部市の教育」を編さんし、発行した。また発行にあたっては、前年に引き続いて紙での印刷は必要最小限の部数（80冊）のみとし、その他はホームページ上で公開するとともに、電子データでの配布とすることにより、資源の節約及び経費の削減に努めた。</p> <p>教育委員会表彰制度においては、令和4年度は71名、5団体を表彰した。</p>	学校総務課 (教育総務課)
教育センター管理事務	<p>51,583千円</p> <p>市民の生涯学習の推進及び普及を図るため、教育相談センター視聴覚センター、郷土資料館の複合施設である教育センターの維持管理を行うものである。</p> <p>経年劣化により修繕箇所が増加しているが、令和4年度は、研修室等ブラインド修繕（752千円）外20件の修繕を行い、不良箇所の早期発見、早期対応に努めた。</p> <p>また、清掃業務委託、建築物環境衛生管理業務委託外17件の委託等を行い、施設・設備の良好な状態の維持を図った。</p> <p>このほか、昼休み中の事務室の照明消灯、2基あるエレベーターのうち、1基を停止等により節電に取り組んだ。</p>	学校総務課 (教育総務課)

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)												
<p>学校教育支援事業</p>	<p>157,589千円</p> <p>市教委・事務所教育支援・学力向上推進担当学校訪問（各校1回）、指導主事等による学校訪問（随時）、初任者・5年・10年経験者研修、各種研修、教育研究員研究協議会、体力向上推進事業、人権教育指導資料作成、生徒指導特別委員会、就学支援委員会、特別支援教育推進事業、指導担当・教職員担当事務、学校教育だよりの発行（年2回）、社会科副読本の編集・発行、スーパー元気・さわやかキャンペーン事業、協議会等運営事務等を実施した。</p> <p>少人数指導など、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実や学校のニーズに応じるための相談員・支援員等の配置の拡充、教員研修の充実による教職員の資質向上、教育課題の解決、教育内容の充実を通して、魅力と信頼に満ちた特色ある学校づくりの推進を図ることができた。</p> <p>【第2次総合振興計画前期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="392 797 1254 1010"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和3年度末実績</th> <th>令和4年度末実績</th> <th>基本計画目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「伝えあい 学びあい」に取り組む授業の普及する割合 (上段:小学校 義務教育学校前期課程、 下段:中学校 義務教育学校後期課程)</td> <td>79.7% 77.4%</td> <td>81.5% 74.5%</td> <td>80.0% 75.0%</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和3年度末実績	令和4年度末実績	基本計画目標値	「伝えあい 学びあい」に取り組む授業の普及する割合 (上段:小学校 義務教育学校前期課程、 下段:中学校 義務教育学校後期課程)	79.7% 77.4%	81.5% 74.5%	80.0% 75.0%	<p>指導課</p>				
施策の成果指標	令和3年度末実績	令和4年度末実績	基本計画目標値											
「伝えあい 学びあい」に取り組む授業の普及する割合 (上段:小学校 義務教育学校前期課程、 下段:中学校 義務教育学校後期課程)	79.7% 77.4%	81.5% 74.5%	80.0% 75.0%											
<p>中学生社会体験チャレンジ事業</p>	<p>0千円</p> <p>例年11月上旬の3日間に、市内すべての中学1年生（義務教育学校7年生を含む）が、市内約400箇所の事業所で職業体験、福祉体験を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事業所における体験活動は中止とし、各学校が行った代替の取組を支援した。</p> <p>未来の春日部を担う生徒が、地域や学校の実態に応じ、様々な職場での体験活動を行うことにより、多くの人々とのふれあいを通して、望ましい勤労観、職業観、社会性、自立心を育むことは、大きな意義があるが、令和4年度をもって本事業は廃止とし、令和5年度以降は、各学校が行う進路・キャリア教育を指導・支援する。</p>	<p>指導課</p>												
<p>各種大会児童・生徒派遣補助金</p>	<p>5,512千円</p> <p>優秀な成績で、春日部市や地区の代表、県の代表として関東大会や全国大会に出場する際の経費の一部を補助することにより、各学校における各種スポーツ及び文化活動の振興を図ることができた。</p> <p>【関東大会及び全国大会への出場件数】</p> <table border="1" data-bbox="392 1749 1254 1906"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関東大会</td> <td>0件</td> <td>9件</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>全国大会</td> <td>0件</td> <td>6件</td> <td>8件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により大会が中止</p>		令和2年度	令和3年度	令和4年度	関東大会	0件	9件	12件	全国大会	0件	6件	8件	<p>指導課</p>
	令和2年度	令和3年度	令和4年度											
関東大会	0件	9件	12件											
全国大会	0件	6件	8件											

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)								
英語指導助手 招致事業	<p>60,324千円</p> <p>英語指導助手を市内中学校及び義務教育学校に各1名（大規模校には2名）配置し、小学校へも計画的に訪問した。また、小学校専属で訪問するALTを3名配置した。英語指導助手は、小・中・義務教育学校の英語の授業における発音指導、会話練習、国際理解活動の授業における会話練習等を支援した。また、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成を図ることができた。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市主催の国際理解活動はオンラインで行い、家族みんなで国際交流に親しむ取組となった。</p> <p>【第2次総合振興計画前期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="392 640 1252 853"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和3年度末 実績</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ALT（英語指導助手）を活用した授業数の割合 <small>（上段：小学校 義務教育学校前期課程、 下段：中学校 義務教育学校後期課程）</small></td> <td>39.8% 29.9%</td> <td>42.6% 22.2%</td> <td>20.0% 25.0%</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値	ALT（英語指導助手）を活用した授業数の割合 <small>（上段：小学校 義務教育学校前期課程、 下段：中学校 義務教育学校後期課程）</small>	39.8% 29.9%	42.6% 22.2%	20.0% 25.0%	指導課
施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値							
ALT（英語指導助手）を活用した授業数の割合 <small>（上段：小学校 義務教育学校前期課程、 下段：中学校 義務教育学校後期課程）</small>	39.8% 29.9%	42.6% 22.2%	20.0% 25.0%							
市教育研究会 補助金	<p>503千円</p> <p>教職員の資質向上を目的に組織された春日部市教育研究会に対して、各教科等の部会での授業研究会や研修会等の活動に補助を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各種行事が中止となったため、補助する場面は少なかったが、魅力ある教育活動、魅力ある学校づくりを支援し、研究会の充実・発展、教職員の資質向上を図ることができた。</p>	指導課								
保健衛生事務	<p>84,182千円</p> <p>学校保健安全法に定められた児童・教職員の健康衛生管理と日本スポーツ振興センターの保険給付事務を行った。 児童生徒健康診断4～10月（全児童生徒対象） 教職員健康診断7月（全教職員対象）等 災害共済給付件数： 1,805件（令和3年：1,902件）</p> <p>医療関係機関との連携を密にし、児童生徒、教職員の健康増進を図るとともに、保険給付等の円滑な執行を図ることができた。</p>	指導課								

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)																																
<p>特色ある教育 推進事業</p>	<p>23,118千円</p> <p>春日部市教育委員会の研究委嘱校として、市内小・中学校21校のほか、情報教育を先進的に研究する学校2校をモデル校として委嘱した。 小学校に小学校英語指導助手を派遣し、授業の一層のレベルアップを図り、外国語活動や英語教育の充実を図った。令和4年11月には、ALTと児童・生徒がオンラインで英会話を楽しみ、異文化を知るための「カスカベ・インターナショナル・フレンドシップ・デイ」を開催した。 市内硬筆展、市内美術展、市内書きぞめ展は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインによる開催としたが、今後も、様々な形態で子供たちの作品を多くの人々に紹介するよう検討していく。今後も、引き続き、地域人材活用事業として、音楽会や発表会での楽器運搬料の補助を行い、各学校の地域に根ざした学校づくりを支援していく。 新型コロナウイルス感染症の影響により制限はあったが、学校が工夫をし、魅力ある学校づくりのための特色ある教育活動の充実を図ることができた。</p> <p>【各種展覧会】</p> <table border="1" data-bbox="392 956 1252 1220"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内硬筆展</td> <td>オンライン開催</td> <td>オンライン開催</td> <td>オンライン開催</td> </tr> <tr> <td>市内科学展</td> <td>オンライン開催</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>市内美術展</td> <td>オンライン開催</td> <td>中止</td> <td>オンライン開催</td> </tr> <tr> <td>市内書きぞめ展</td> <td>オンライン開催</td> <td>オンライン開催</td> <td>オンライン開催</td> </tr> </tbody> </table> <p>【春日部市教育委員会の研究委嘱校数】</p> <table border="1" data-bbox="392 1326 1252 1485"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>モデル校</td> <td>2校</td> <td>4校</td> <td>2校</td> </tr> <tr> <td>教科等研究委嘱校</td> <td>21校</td> <td>19校</td> <td>21校</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度	令和3年度	令和4年度	市内硬筆展	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催	市内科学展	オンライン開催	中止	中止	市内美術展	オンライン開催	中止	オンライン開催	市内書きぞめ展	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催		令和2年度	令和3年度	令和4年度	モデル校	2校	4校	2校	教科等研究委嘱校	21校	19校	21校	<p>指導課</p>
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																															
市内硬筆展	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催																															
市内科学展	オンライン開催	中止	中止																															
市内美術展	オンライン開催	中止	オンライン開催																															
市内書きぞめ展	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催																															
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																															
モデル校	2校	4校	2校																															
教科等研究委嘱校	21校	19校	21校																															
<p>活躍する春日部の子もたちPR活動</p>	<p>0千円</p> <p>教育委員会ホームページに、活躍する市内の児童生徒及び教職員の写真などを掲示し、広く春日部市民に広報することで、各学校の特色ある学校づくりを支援した。 主な掲示内容 ・児童生徒の学習の様子 ・学校行事の様子 ・各学校の研究発表の様子 ・各種大会で活躍する児童生徒の様子 ・その他、各学校の教育活動の様子</p>	<p>指導課</p>																																

基本目標	1 子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち
政策	2. 知・徳・体のバランスがとれた子どもを育てるまちをつくる
施策	2. 一人ひとりを大切にした教育の推進

#### 令和4年度の主な取組

- 教育相談センターに臨床心理士、学校心理士、スクールソーシャルワーカー、相談員を配置するなど、相談体制の充実を図っている。必要に応じて、関係各課、関係機関と連携を図り、適切な支援につなげるようにしている。また、各中学校においてもさわやか相談員及び地域教育相談員を配置し、一人ひとりに寄り添った相談活動を行っている。
- ノーマライゼーションの理念に基づく教育の推進のため、特別な支援が必要な児童生徒に対し、適切な支援を行うための「巡回相談」や「支援籍学習」等を実施した。また、「就学支援委員会」の開催、「特別支援教育推進協議会」の運営など、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた、きめ細かな教育の推進を図った。医療的ケア児に対する支援については、関係機関と連携を図りながら実施している。
- 「春日部市いじめ防止条例」に定められている、いじめの防止等のための対策を推進するために「春日部市いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、学校、関係機関等が連携し情報交換を行った。さらに、「春日部市いじめ問題対策調査委員会」を開催し、専門的な見地から意見を伺った。
- いじめの早期発見、解消に向け、保護者、地域の方々の協力を得ながら、市内小・中・義務教育学校で「スーパー元気・さわやかキャンペーン」を行い、学校・家庭・地域が一体となっていじめを生まない土壌づくりをめざした。
- いじめや不登校など、学校生活の不安や悩みの解消に向け、臨床心理士や学校心理士などの専門家を含む「こころのサポートチーム」を組織し、学校訪問を実施するなど、相談体制を拡充し、問題の未然防止や早期発見を図った。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、毎年行っている「特別支援教育セミナー」は、中止としたが、不登校に悩む児童生徒やその保護者の一助となる「不登校を考えるシンポジウム」については、集合型で実施した。
- 登校支援指導教室「ステップ教室」、適応指導教室「そよかぜ」、「すくすく」において不登校の児童生徒への支援を行った。
- 特別な配慮を要する児童生徒への理解を深め、適切な指導・支援ができるよう教職員の研修を実施した。
- ヤングケアラーに関する県発行のリーフレット等を活用し、学校職員のヤングケアラーに対する理解を深めた。さらに、福祉部と連携し、実態把握調査及び今後の支援策に関する情報提供を行った。
- 学校における人権教育について、教職員が正しい知識と理解にもとづき指導できるように、教職経験年数が少ない教職員を中心に、人権教育研修会を行った。

#### 今後の課題

- 教育相談センター及び各学校、医療、福祉との連携を強化し、一人ひとりの状況に応じた相談体制のさらなる充実を図る必要がある。
- SNSによる悪口等のいじめが少なからず起きている。周囲が気づきにくいこともあるため、学校での啓発教室の実施やネット利用標準ルール周知活動を支援するとともに、家庭や地域と連携し早期発見・早期対応できる組織体制を整える必要がある。
- 不登校児童生徒の出現率が増加の傾向にあるため、これまで以上に児童生徒一人ひとりに寄り添ったきめ細かな指導を充実させていく必要がある。

#### 評価

本市では、教育相談センターに専門的な資格を持つ心理士や相談員を配置するなどして、相談体制の拡充や特別支援教育の充実を図り、児童生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細かな対応を進めていることは評価できる。

特別支援学級の設置率が100%となり「多様な学びの場」の充実が図られたことは評価できる。

「こころのサポートチーム」による学校訪問も年々回数を増やし、いじめ・不登校等の解消のための支援が進められたこと、「春日部市いじめ問題対策連絡協議会」の取組の充実が図られ、いじめの防止等のための具体的な取組が進んでいることなど、それぞれの課題に応じた施策を講じ成果をあげたことは評価できる。

今後も、児童生徒それぞれの状況に応じたきめ細かな対応を継続し、いじめ・不登校問題の解消・未然防止や、適切な就学支援に努め、一人ひとりを大切にした教育をさらに推進するとともに豊かな心情と実践力の育成を目指した心の教育を通して、人間性や社会性のさらなる育成に努めていただきたい。

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)																						
いじめ防止対策推進事業	<p>76千円</p> <p>令和4年11月・2月に「春日部市いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、青少年関係者、関係機関、関係各課等から、いじめの防止等のための対策及び情報交換のための会議を行った。</p> <p>さらに、令和5年3月には、学識経験者、弁護士、医師を委員とする「春日部市いじめ問題対策調査委員会」を開催し、いじめの防止等のための対策について専門的な意見をまとめ、市として、今後の子供たちの取組や保護者・地域との連携について、協議した。</p> <p>【いじめ認知件数】</p> <table border="1" data-bbox="392 640 1254 904"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">いじめ認知件数 (解消率)</td> <td>小学校 義務教育学校前期課程</td> <td>76件 (80.3%)</td> <td>93件 (75.3%)</td> </tr> <tr> <td>中学校 義務教育学校後期課程</td> <td>30件 (73.3%)</td> <td>37件 (73.0%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※いじめの半数以上が「冷やかし・悪口」</p>			令和3年度	令和4年度	いじめ認知件数 (解消率)	小学校 義務教育学校前期課程	76件 (80.3%)	93件 (75.3%)	中学校 義務教育学校後期課程	30件 (73.3%)	37件 (73.0%)	指導課											
		令和3年度	令和4年度																					
いじめ認知件数 (解消率)	小学校 義務教育学校前期課程	76件 (80.3%)	93件 (75.3%)																					
	中学校 義務教育学校後期課程	30件 (73.3%)	37件 (73.0%)																					
教育相談センター運営事業	<p>9,343千円</p> <p>教育相談センター、大沼分館、庄和分館の3館において、市民に開かれた相談機関として、教育相談活動や不登校児童生徒の自立を支援する活動を行った。相談は面接や電話によるもので、のべ回数は3館合計で4,434回であった。相談内容は、性格行動に関すること、次いで養育・家庭問題に関することが多く、一人の相談者に継続して対応するケースも多かった。</p> <p>適応指導教室、登校支援指導教室には学校に行きたいが、心理的な理由により学校に行くことができない不登校や学校だけの関わりでは難しい長期化した不登校、社会性が不足し、小集団活動が必要とされる児童生徒等が通室した。この3教室においても、「春日部メソッド」の推進（伝えあい 学びあい）を目指し、安心して生活・学習ができる居場所であること、人とのつながりを通して意欲や思いやりを育むことを重視し、学習や制作、レクリエーションなど様々な活動を行った。適応指導教室通室生徒数は、大沼分館13名、庄和分館11名で、約7割の生徒が、学校への完全復帰または部分復帰した。</p> <p>令和3年度と令和4年度の不登校の出現率を比較すると、中学校は4.70%から5.57%、小学校は0.94%から1.45%で増加となった。今後も不登校については、未然防止、解消に努める。</p> <p>特別支援学級の設置率については、令和3年度から100%となっている。</p> <p>【第2次総合振興計画前期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="392 1744 1254 1906"> <thead> <tr> <th colspan="2">施策の成果指標</th> <th>令和3年度末 実績</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">不登校児童生徒の出現率</td> <td>小学校 義務教育学校前期課程</td> <td>0.94%</td> <td>1.45%</td> <td>0.12%</td> </tr> <tr> <td>中学校 義務教育学校後期課程</td> <td>4.70%</td> <td>5.56%</td> <td>2.21%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【特別支援学級の設置率】</p> <table border="1" data-bbox="392 1957 1254 2063"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別支援学級の設置率</td> <td>97.1%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標		令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値	不登校児童生徒の出現率	小学校 義務教育学校前期課程	0.94%	1.45%	0.12%	中学校 義務教育学校後期課程	4.70%	5.56%	2.21%		令和2年度	令和3年度	令和4年度	特別支援学級の設置率	97.1%	100.0%	100.0%	指導課
施策の成果指標		令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値																				
不登校児童生徒の出現率	小学校 義務教育学校前期課程	0.94%	1.45%	0.12%																				
	中学校 義務教育学校後期課程	4.70%	5.56%	2.21%																				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																					
特別支援学級の設置率	97.1%	100.0%	100.0%																					

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)
特別支援教育 推進事業	1,748千円 発達の課題を抱えている児童を客観的に確認するとともに、知能と学力の相関関係を見て指導に生かすことを目的に、教研式知能検査を実施した。また、発達障害の児童生徒を支援するため、特別支援教育推進チーム会議及び専門家チーム会議を実施し、サポート体制を構築した。	指導課
こころのサポ ート推進事業	2,860千円 学校訪問で、いじめ・不登校を中心に気になる児童生徒について各学校と情報交換を行い、一人ひとりの児童生徒の実態を把握した。また、いじめ・不登校に発展する可能性がある発達障害のある児童生徒について、臨床心理士、学校心理士が様子を観察し、適切な指導方法を助言することで二次障害の未然防止を図った。また、各学校と情報交換を行い、一人ひとりの児童生徒の実態を把握した。本年度は、各学校1～2回の定期訪問と、それ以外にも依頼を受けて随時訪問を行ったため、学校と十分な協議がなされた。また、福祉的な面から家庭の支援を必要とするケースについて、スクール・ソーシャル・ワーカーと学校が連携を図り、今後の支援の方針を決めていった。専門的な立場からの支援により、学校が安心して問題に取り組めるといった意見をいただいた。	指導課

【こころのサポートチーム学校訪問回数】

		令和3年度	令和4年度
こころのサポート チーム学校訪問 (延べ回数)	小学校 義務教育学校前期課程	85回	128回
	中学校 義務教育学校後期課程	50回	126回

基本目標	1 子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち
政策	2. 知・徳・体のバランスがとれた子どもを育てるまちをつくる
施策	3. 充実した学校環境づくりの推進

#### 令和4年度の主な取組

- 学校施設の修繕をスムーズかつ効率的に実施していくため、学校から不具合の概要、写真や位置の情報をメールで受け取り、このデータを元に一元管理を行った。
- 消耗品や原材料の購入で対応可能な簡易な修繕については、施設課職員が迅速に対応した。
- 小学校の施設維持・管理のため、1校で昇降機修繕、2校で消防設備修繕、2校で屋上防水修繕を実施した。
- 平成28年度にPFI事業により全学校33校（東中学校を除く）の普通教室等に設置したエアコンについて、フィルター清掃や機器の定期点検等の維持管理を行った。
- 学校環境の改善を図るため、小学校の3校で校舎トイレ改修を実施した。  
また、小学校11校の特別教室及び設置要望があった特色ある教育を推進するために使用している教室にエアコン設置工事を実施した。
- 中学校の施設維持・管理のため、1校でプール槽修繕、1校で消防設備修繕、2校で屋上防水修繕を実施した。
- 学校環境の改善を図り、学校等の施設に求められる機能・性能を確保し長寿命化や計画的な更新を推進するため、1校で長寿命化改修基本計画・基本設計業務委託を実施した。
- 学校において新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国の補助事業（補助率1/2）を活用することにより、必要な消毒用アルコール等の消耗品や空気清浄機等の備品を購入した。
- 文部科学省が示すGIGAスクール構想により整備した1人1台の学習用タブレット及び校内通信ネットワーク環境について、学習活動に支障がないよう安定稼働を図った。
- 児童生徒一人一人に応じた学びをより一層充実するため、学習用タブレットで使用する学習支援ソフトの導入を行った。
- 小学校22校及び義務教育学校（前期課程）1校の学校図書館に学校図書館支援員を1人3校から4校で6グループに分け6名配置した。  
蔵書の整理や本の修繕が進むとともに、季節やテーマごとの掲示物や本の紹介コーナーが充実し図書館が利用しやすくなった。また、貸出や返却がスムーズになった。
- 食に関する正しい知識と望ましい食習慣をはぐくむ食育を推進するため、担任や栄養教諭、栄養職員による家庭科や学校ファームを活用した学級活動などとの関連を図った食育授業の実施や、給食だよりの充実を図り積極的に情報発信を行うなど、実践的な取組を行い、児童生徒の健康の保持増進をはじめとする食育の充実を図った。また、衛生管理の徹底を図った。
- 学校給食に安全で豊かな地元農産物を取り入れるため、地場産米100%使用を継続した。また地場産の野菜等の使用量を増やして、地産地消の推進を図った。
- 食物アレルギーを有する児童生徒が健康で安全な生活を営めるよう、医師会と連携したアレルギー対応部会において協議を重ね、アレルギー除去食の提供は、本市独自の除去食専用の食器を使用することを決定した。また学校における課題等についての対応策について、各学校で共通理解を図った。
- 多子世帯の経済的な負担を軽減し、子育て環境の更なる充実を図るため、児童生徒を3人以上養育する保護者に対し、3人目以降の児童生徒の学校給食費を全額補助した。
- 就学支援の促進として、国の補助金交付要綱に準じ、市単独事業により、要保護世帯に加え、準要保護世帯に対し事業の継続を図った。また、翌年度入学予定者の保護者に対し、新入学学用品費等の入学前支給を実施した。
- 経済的に修学が困難な者に対して入学準備金、奨学金貸付事業による支援を行った。また、返還金滞納者に対し電話、文書による督促に努めた。
- 児童生徒のチャレンジ精神の向上を図り、未来を担う人財を育成するため、提案型選考による奨学金の交付と英語検定料の助成を行った。
- 通学路における安全確保のため、学校から提出された「通学路に関する要望書」に基づき、関係機関等と調整し、安全対策の円滑な実施と進捗状況の継続的な把握に努めた。
- 江戸川小中学校に学区内から通学する児童の安心安全を確保するため、スクールバスを運行した。

## 今後の課題

- 「第2次春日部市総合振興計画後期基本計画」では、学校環境の改善を図るために優先的に取り組む事業として学校の校舎トイレ改修事業を掲げ、令和3年度に13校であった校舎トイレにおける改修達成校数を令和9年度までに34校、すべての学校の校舎トイレ改修を完了することを目標とし、計画的に工事を進めていく必要がある。
- 学校施設は、昭和50年代をピークに建設が進められ、築後30年以上を経過した建物が全体の約8割となる状況にあり、施設の経年により、屋上・外壁の雨漏りやトイレなどの給排水設備の老朽化劣化対策が課題となっていることから、平成29年度に策定した春日部市学校施設長寿命化計画に基づき、不具合の発生を未然に防ぐ予防保全型の施設管理を行い、計画的な改修等を進めていく必要がある。
- 学習環境に求められる機能・性能を確保するため、「春日部市学校施設長寿命化整備検討委員会要綱」に基づく関係課と十分な協議・検討し、長寿命化の対象とした学校における、長寿命化改修基本計画を策定する必要がある。
- 学校施設は老朽化や経年劣化が全体的に進んでおり、令和4年度は884件の修繕を行い、費用も多額になっている。また、修繕には計画的に実施するものや緊急対応として行うものなど、案件が多いことから、学校と連携した修繕を進めるためメールによる連絡体制を続け計画的に修繕に取り組む必要がある。
- 学習用タブレット（約1万7千台）とそれに伴う機器を、学習活動に支障なく、常に活用できる状態に維持管理していく必要がある。
- 年々増加傾向にある食物アレルギーを有する児童生徒への対応が、さらに迅速に行えるように、学校との連携を強化する必要がある。
- 通学路に関する要望事項について、学校と学務課双方で情報の共有化を図り、関係部署等と連携しながら、継続的に現地状況を把握し、計画的に安全対策を進めていく必要がある。

## 評価

学校施設の老朽化に伴い、修繕や工事は今後も増加すると思われるため、引き続き施設の維持保全ができる組織体制を維持するとともに、平成29年度に策定された春日部市学校施設長寿命化計画に基づき、計画的な老朽化対策、長寿命化等に努めていただきたい。

学校の校舎トイレについては、和便器が中心であり臭気の問題等の様々な課題があることから、子ども達の学校環境の向上を図るとともに、有事の際には地域住民の避難所を担うことから、併せて今後も計画的な施設整備に取り組んでいただきたい。

学校における新型コロナウイルス感染症対策のために必要となる物品を購入し、教育活動を継続するための支援をしたことは、評価できる。

学習者用タブレット等の情報機器について、適切な保守管理に努めたい。

学校図書館については、学校図書館支援員が配置されたことによって、学校図書館の環境が整備され、児童が利用しやすくなったことは評価できる。

児童・生徒の登下校時の安全確保を目的とした、うごく子ども110番推進事業を継続するため、劣化したマグネットシートを新しくしたことは評価できる。

アレルギー対応検討部会で、アレルギー除去食の提供時に除去食専用の食器を使用することを決定したことは、評価できる。

学校選択制度や小規模特認校制度等により、地域の実情や児童生徒の意向に配慮した区域外就学が弾力的に運用できており、学校選択の機会拡大が図られていることは評価できる。

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)													
小学校施設維持・管理事業	599,104千円 施設の法定点検及び老朽化、機能の劣化による危険個所等の整備を行うと伴に桜川小学校昇降機修繕、八木崎小学校消防設備修繕、武里小学校消防設備修繕、武里南小学校テラス防水修繕、緑小学校校舎屋上防水修繕を実施した。 これにより、子ども達の安全確保及び学校環境の改善が図られた。 (消防設備保守管理業務委託外20件、施設修繕件数 566件)	施設課 (教育施設課)													
小学校普通教室等エアコン整備事業	17,246千円 小学校普通教室等エアコン購入費 (PFI事業に伴う平成28年度からの割賦金)	施設課 (教育施設課)													
小学校校舎トイレ改修事業	499,607千円 (うち繰越明許分479,479千円) 上沖小学校、藤塚小学校、小淵小学校校舎トイレにおいて洋便器の設置を含む全面的な改修工事を実施した。 これにより、洋便器率の目標値に対し大幅にポイントを増加させ学校環境の改善が図られた。  【第2次総合振興計画前期基本計画の成果指標における目標及び経過】	施設課 (教育施設課)													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和3年度末 実績</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校トイレの洋便器率</td> <td>43.1%</td> <td>49.7%</td> <td>35.0%</td> </tr> </tbody> </table>				施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値	学校トイレの洋便器率	43.1%	49.7%	35.0%				
施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値												
学校トイレの洋便器率	43.1%	49.7%	35.0%												
小学校特別教室エアコン整備事業	318,450千円 (うち繰越明許分318,450千円) 小学校22校中11校の設置工事を実施し、子ども達の学習環境の改善が図られた。	施設課 (教育施設課)													
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度末 実績</th> <th>令和3年度末 実績</th> <th>令和4年度末 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校 (22校)</td> <td>—</td> <td>11校</td> <td>11校</td> </tr> <tr> <td>中学校(11校)、義務教育学校</td> <td>12校</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>					令和2年度末 実績	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	小学校 (22校)	—	11校	11校	中学校(11校)、義務教育学校	12校	—	—
	令和2年度末 実績	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績												
小学校 (22校)	—	11校	11校												
中学校(11校)、義務教育学校	12校	—	—												
中学校施設維持・管理事業	347,486千円 施設の法定点検及び老朽化、機能の劣化による危険個所等の整備を行うと伴に江戸川小中学校プール槽修繕、春日部中学校消防設備修繕、緑中学校校舎屋上防水修繕、豊春中学校給食室防水修繕を実施した。 これにより、子ども達の安全確保及び学校環境の改善が図られた。 (消防設備保守管理業務委託外20件、施設修繕件数 318件)	施設課 (教育施設課)													
中学校普通教室等エアコン整備事業	6,668千円 中学校普通教室等エアコン購入費 (PFI事業に伴う平成28年度からの割賦金)	施設課 (教育施設課)													
中学校等施設長寿命化推進事業  【新規】	39,600千円 学校環境の改善を図るため、学校施設に求められる機能・性能を確保し、長寿命化や計画的な更新を図るため、葛飾中学校長寿命化改修基本計画・基本設計業務委託を実施した。	施設課 (教育施設課)													

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)
小学校給食運営事業	<p>535,398千円</p> <p>春日部地域小学校18校の学校給食の安定的な提供のため、給食調理業務委託(18校)、給食室殺菌消毒(4回)・害虫消毒(3回)、給食室給排気装置及び蛍光灯器具清掃(1回)、グリストラップ清掃(3回)、給食消耗品の補充、給食備品の買換え・修理、給食食器・食材等の衛生検査を行い、衛生管理体制の徹底や給食設備等の充実を図ることにより、年間を通して安全で安定した学校給食運営を行った。</p> <p>春日部地域の学校給食を適正かつ円滑に行うため、春日部市学校給食連絡協議会及び給食運営委員会、アレルギー対応検討部会を各2回開催した。</p> <p>多子世帯への学校給食費の補助を行った。【対象児童数：387人】</p>	学務課 (学校給食課)
中学校給食運営事業	<p>279,447千円</p> <p>春日部地域中学校9校の学校給食の安定的な提供のため、給食調理業務委託(9校)、給食室殺菌消毒(4回)・害虫消毒(3回)、給食室給排気装置及び蛍光灯器具清掃(1回)、グリストラップ清掃(3回)、給食消耗品の補充、給食備品の買換え・修理、給食食器・食材等の衛生検査を行い、衛生管理体制の徹底や給食設備等の充実を図ることにより、年間を通して安全で安定した学校給食運営を行った。</p> <p>春日部地域の学校給食を適正かつ円滑に行うため、春日部市学校給食連絡協議会及び給食運営委員会、アレルギー対応検討部会を各2回開催した。</p> <p>多子世帯への学校給食費の補助を行った。【対象生徒数：5人】</p>	学務課 (学校給食課)
給食センター運営事業	<p>371,673千円</p> <p>給食配送校 7校(庄和地域 小学校4校、中学校2校、義務教育学校1校) 給食提供数 約 3,200食/日(調理業務は委託)</p> <p>庄和地域7校の安心・安全な学校給食の安定的な提供のため、適正な賄材料の購入、調理業務委託、厨房機器点検、食器等の購入、備品の買換え・修理などを行った。</p> <p>また、給食センターの施設管理にあたっては、鼠、昆虫等の防除(毎月)、殺菌消毒(3回)、消防設備点検(2回)、定期清掃(1回)、給排水設備保守管理業務などを含む総合管理を実施した。</p> <p>給食センターの運営を適正かつ円滑に行うため、春日部市学校給食センター運営委員会を1回開催した。</p> <p>多子世帯への学校給食費の補助を行った。【対象児童生徒数：89人】</p>	学務課 (学校給食課)
学務事務	<p>1,398千円</p> <p>児童生徒の就学に関し、学校選択制度、小規模特認校制度の運用及び、必要に応じた指定校の変更等を行い、通学区域の適正かつ弾力的運用を図った。</p>	学務課

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)																														
通学路安全対策事業	<p>0千円</p> <p>通学路の安全を確保するため、学校、PTA、自治会及び関係機関等と連携し、通学路の安全対策の実施と進捗状況の把握を行った。</p> <p>【小・中・義務教育学校からの通学路に関する要望書対応結果】</p> <table border="1" data-bbox="392 432 1254 696"> <thead> <tr> <th>要望のあった年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要望書総数</td> <td>64</td> <td>103</td> <td>85</td> <td>160</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>安全対策の実施・充足</td> <td>27</td> <td>51</td> <td>53</td> <td>111</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>検討・要望等</td> <td>31</td> <td>32</td> <td>13</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>対応不可</td> <td>6</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>48</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和3年度は埼玉県が中心で進めている通学路安全総点検実施</p>	要望のあった年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	要望書総数	64	103	85	160	61	安全対策の実施・充足	27	51	53	111	46	検討・要望等	31	32	13	1	7	対応不可	6	20	19	48	8	学務課
要望のあった年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度																											
要望書総数	64	103	85	160	61																											
安全対策の実施・充足	27	51	53	111	46																											
検討・要望等	31	32	13	1	7																											
対応不可	6	20	19	48	8																											
うごく子ども110番推進事業	<p>50千円</p> <p>市役所の公用車や市内協力団体（春日部小売酒販組合、埼玉県石油業組合春日部支部、日本郵便株式会社春日部郵便局）の自動車等に、「うごく子ども110番」のマニュアルを配付し、ステッカーを貼付してもらい、児童・生徒の登下校時に不測の事態が発生した際の緊急連絡先・避難できる場所として安全確保を行った。</p> <p>また、令和4年度においては、教育センターの公用車に対し、マグネットシートを貼付した。</p>	学校総務課 (教育総務課)																														
地域見守り活動の呼びかけ	<p>0千円</p> <p>防災無線において市内小・義務教育学校の児童の声で、下校時間の報告と地域の方々への見守り活動の呼びかけを行った。</p>	指導課																														
未来を担う人材育成事業	<p>4,803千円</p> <p>児童生徒のチャレンジ精神の向上を図り、未来を担う人財を育成するため、提案型選考による奨学金の交付と英語検定料の助成を行った。</p> <p>未来を育む奨学金 交付件数 9件</p> <p>英語検定料助成 申請人数 699人</p>	学務課																														
江戸川小中学校スクールバス運行事業	<p>16,104千円</p> <p>江戸川小中学校に学区内から通学する児童の安心安全を確保するため、スクールバスを運行した。</p>	学務課																														

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)																											
入学準備金・奨学金貸付事業	720千円 経済的理由により修学が困難な者に対し奨学金を貸付するとともに、その保護者に対して入学準備金の貸付を行うことにより、教育の機会均等の推進及び有用な人材の育成を図った。 貸付人数：3人 入学準備金・奨学金貸付審査委員会（1回） 入学準備金 高校等（30万円）2件 奨学金 高校等（月1万円）1件 奨学金 大学等（月2万円）0件	学務課																											
小学校要保護及び準要保護就学援助事業	115,913千円 経済的理由で就学困難な児童の保護者に対し、学用品費・給食費等を支給することにより、義務教育の円滑な実施を図った。 翌年度入学予定者の保護者に対し、入学前支給を実施した。 認定者数：1,506人 《要保護86人・準要保護1,420人》 <table border="1" data-bbox="392 902 769 1167"> <thead> <tr> <th>支給項目</th> <th>支給人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費・通学用品費</td> <td>1,423人</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（日帰り）</td> <td>1,039人</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（宿泊）</td> <td>206人</td> </tr> <tr> <td>新入学児童学用品費等</td> <td>214人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="820 902 1252 1220"> <thead> <tr> <th colspan="2">支給項目</th> <th>支給人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">修学旅行費</td> <td>257人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">学校給食費</td> <td>1,417人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">医療費</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">新入学児童学用品費等（入学前支給）</td> <td>新小1</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>新中1</td> <td>250人</td> </tr> </tbody> </table>	支給項目	支給人数	学用品費・通学用品費	1,423人	校外活動費（日帰り）	1,039人	校外活動費（宿泊）	206人	新入学児童学用品費等	214人	支給項目		支給人数	修学旅行費		257人	学校給食費		1,417人	医療費		3人	新入学児童学用品費等（入学前支給）	新小1	150人	新中1	250人	学務課
支給項目	支給人数																												
学用品費・通学用品費	1,423人																												
校外活動費（日帰り）	1,039人																												
校外活動費（宿泊）	206人																												
新入学児童学用品費等	214人																												
支給項目		支給人数																											
修学旅行費		257人																											
学校給食費		1,417人																											
医療費		3人																											
新入学児童学用品費等（入学前支給）	新小1	150人																											
	新中1	250人																											
小学校特別支援教育就学奨励事業	5,302千円 特別支援学級等に就学する児童及び、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童の保護者に対し、就学するために必要な経費の一部を補助することにより、特別支援教育の振興と保護者の経済的負担の軽減を図った。 認定者数：250人 <table border="1" data-bbox="392 1536 769 1800"> <thead> <tr> <th>補助項目</th> <th>補助人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品等購入費</td> <td>158人</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（日帰り）</td> <td>134人</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（宿泊）</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>新入学児童学用品費等</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="820 1536 1198 1747"> <thead> <tr> <th>補助項目</th> <th>補助人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>学校給食費</td> <td>157人</td> </tr> <tr> <td>交流学习交通費</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>	補助項目	補助人数	学用品等購入費	158人	校外活動費（日帰り）	134人	校外活動費（宿泊）	27人	新入学児童学用品費等	19人	補助項目	補助人数	修学旅行費	34人	学校給食費	157人	交流学习交通費	0人	学務課									
補助項目	補助人数																												
学用品等購入費	158人																												
校外活動費（日帰り）	134人																												
校外活動費（宿泊）	27人																												
新入学児童学用品費等	19人																												
補助項目	補助人数																												
修学旅行費	34人																												
学校給食費	157人																												
交流学习交通費	0人																												
小学校教科用図書等整備事業	7,982千円 児童の学習指導を円滑に行うとともに、学力実態を把握して効果的な指導を行うため、教師用教科書、指導書及び学力検査を整備し、教育内容の充実を図った。	学務課																											

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)																						
中学校要保護及び準要保護就学援助事業	<p>80,120千円</p> <p>経済的理由で就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費・給食費等を支給することにより、義務教育の円滑な実施を図った。 認定者数:844人《要保護 49人・準要保護795人》</p> <table border="1" data-bbox="392 430 769 696"> <thead> <tr> <th>支給項目</th> <th>支給人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費・通学用品費</td> <td>796人</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（日帰り）</td> <td>428人</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（宿泊）</td> <td>255人</td> </tr> <tr> <td>新入学生徒学用品費等</td> <td>30人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="821 430 1198 640"> <thead> <tr> <th>支給項目</th> <th>支給人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>257人</td> </tr> <tr> <td>学校給食費</td> <td>783人</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>	支給項目	支給人数	学用品費・通学用品費	796人	校外活動費（日帰り）	428人	校外活動費（宿泊）	255人	新入学生徒学用品費等	30人	支給項目	支給人数	修学旅行費	257人	学校給食費	783人	医療費	0人	学務課				
支給項目	支給人数																							
学用品費・通学用品費	796人																							
校外活動費（日帰り）	428人																							
校外活動費（宿泊）	255人																							
新入学生徒学用品費等	30人																							
支給項目	支給人数																							
修学旅行費	257人																							
学校給食費	783人																							
医療費	0人																							
中学校特別支援教育就学奨励事業	<p>3,688千円</p> <p>特別支援学級等に就学する生徒及び、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒の保護者に対し、就学するために必要な経費の一部を補助することにより、特別支援教育の振興と保護者の経済的負担の軽減を図った。 認定者数:107人</p> <table border="1" data-bbox="392 1010 769 1276"> <thead> <tr> <th>補助項目</th> <th>補助人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品等購入費</td> <td>71人</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（日帰り）</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（宿泊）</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>新入学生徒学用品費等</td> <td>28人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="821 1010 1198 1328"> <thead> <tr> <th>補助項目</th> <th>補助人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>学校給食費</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>交流学习交通費</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>職場実習交通費</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>	補助項目	補助人数	学用品等購入費	71人	校外活動費（日帰り）	38人	校外活動費（宿泊）	24人	新入学生徒学用品費等	28人	補助項目	補助人数	修学旅行費	15人	学校給食費	72人	交流学习交通費	4人	職場実習交通費	2人	通学費	0人	学務課
補助項目	補助人数																							
学用品等購入費	71人																							
校外活動費（日帰り）	38人																							
校外活動費（宿泊）	24人																							
新入学生徒学用品費等	28人																							
補助項目	補助人数																							
修学旅行費	15人																							
学校給食費	72人																							
交流学习交通費	4人																							
職場実習交通費	2人																							
通学費	0人																							
中学校教科用図書等整備事業	<p>6,816千円</p> <p>生徒の学習指導を円滑に行うとともに、学力実態を把握して効果的な指導を行うため、副読本・準教科書、学力検査を整備し、教育内容の充実を図った。</p>	学務課																						
小学校運営事業	<p>462,129千円</p> <p>各学校に需用費等を予算配当し、各学校で消耗品や教材等の購入や光熱水費（ガス代）の支払いを行った。 さらに、新型コロナウイルス感染症対策のために、消耗品や備品等を購入した。主なものとして、消毒用アルコール、ペーパータオル、ハンドソープ、使い捨て手袋、サーキュレーター、空気清浄機等を購入した。 また、必要な理科備品や教材等を購入し、学校教育環境の充実を図った。</p>	学校総務課 (教育総務課)																						

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)						
中学校運営事業	<p>280,486千円</p> <p>各学校に需用費等を予算配当し、各学校で消耗品や教材等の購入や光熱水費（ガス代）の支払いを行った。</p> <p>さらに、新型コロナウイルス感染症対策のために、消耗品や備品等を購入した。主なものとして、消毒用アルコール、ペーパータオル、ハンドソープ、使い捨て手袋、サーキュレーター、空気清浄機等を購入した。</p> <p>また、必要な理科備品や教材等を購入し、学校教育環境の充実に努めた。</p>	学校総務課 (教育総務課)						
課外部活動補助金	<p>484千円</p> <p>中学校生徒の課外部活動を支援するために組織された中学校育成会等6団体に対し、部活動の用具購入費等必要経費として、予算の範囲内において補助金を交付し、課外部活動の育成を図るとともに、保護者負担の軽減を図った。</p> <p>補助率：8.8%（1校あたりの平均補助率）</p>	学校総務課 (教育総務課)						
小学校図書館整備事業	<p>17,539千円</p> <p>各学校に予算配当し、各学校で計画的に学校図書を購入した。文部科学省が定める学校図書館図書標準冊数に基づく図書整備率は、100%の目標に対し、前年度比で1.4ポイント減少し、118.6%となった。個別の学校図書館図書標準達成校は、小学校22校及び義務教育学校（前期課程）1校の全23校中22校であった。</p> <p>また、夏休み期間中の読書活動を推進するため、小学校4校・義務教育学校1校において「いきいき図書室推進事業」として学校図書館の開放を行った。</p> <p>学校図書館支援員を3校から4校あたり1名ずつ配置し、学校図書館の整備・充実に努めた。</p> <p><b>【学校図書館図書標準達成校数】</b></p> <table border="1" data-bbox="392 1375 1091 1536"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度末 実績</th> <th>令和4年度末 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校図書館図書標準 達成校数</td> <td>22校/23校</td> <td>22校/23校</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	学校図書館図書標準 達成校数	22校/23校	22校/23校	学校総務課 (教育総務課)
	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績						
学校図書館図書標準 達成校数	22校/23校	22校/23校						
小学校情報教育推進事業	<p>377,401千円</p> <p>学習用タブレット及び校内通信ネットワーク環境の保守管理を行った。</p> <p>各学校のコンピュータ教室にパソコン・周辺機器等をリース契約で整備し、保守管理を行った。</p> <p>学校のICT環境を整備することにより、ICT社会に対応できる人材育成に資することができた。</p>	学校総務課 (教育総務課)						

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)						
中学校図書館 整備事業	<p>6,040千円</p> <p>各学校に予算配当し、各学校で計画的に学校図書を購入した。文部科学省が定める学校図書館図書標準冊数に基づく図書整備率は、100 %の目標に対し、前年度比で0.6ポイント減少し、110.6 %となった。個別の学校図書館図書標準達成校は、中学校11校及び義務教育学校（後期課程）1校の全12校中9校であった。</p> <p>【学校図書館図書標準達成校数】</p> <table border="1" data-bbox="392 535 1091 696"> <thead> <tr> <th data-bbox="392 535 767 591"></th> <th data-bbox="767 535 932 591">令和3年度末 実績</th> <th data-bbox="932 535 1091 591">令和4年度末 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="392 591 767 696">学校図書館図書標準 達成校数</td> <td data-bbox="767 591 932 696">9校/12校</td> <td data-bbox="932 591 1091 696">9校/12校</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	学校図書館図書標準 達成校数	9校/12校	9校/12校	学校総務課 (教育総務課)
	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績						
学校図書館図書標準 達成校数	9校/12校	9校/12校						
中学校情報教 育推進事業	<p>167,637千円</p> <p>学習用タブレット及び校内通信ネットワーク環境の保守管理を行った。</p> <p>各学校のコンピュータ教室にパソコン・周辺機器等をリース契約で整備し、保守管理を行った。</p> <p>学校のICT環境を整備することにより、ICT社会に対応できる人材育成に資することができた。</p>	学校総務課 (教育総務課)						

基本目標	1 子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち
政策	3. 思いやりの心と夢をもった青少年を育てるまちをつくる
施策	1. 青少年教育の推進

#### 令和4年度の主な取組

- 青少年期は、様々な人々との交流の中で、豊かな人間性や自主性、協調性などを培う重要な時期であるが、少子化・核家族化の進行など、青少年を取り巻く環境が変化し、青少年の地域活動の機会も減少している中では、交流の機会を持ちにくくなっているため、各種団体と協力し、子ども達の交流活動・体験活動を実施した。
  - ・青少年の地域活動・ボランティア活動機会の創出のため、中学生を中心にボランティア手帳の配布を行い、地域活動・ボランティア活動等、人に喜ばれる活動を行った児童生徒に対して評価・表彰活動を行う学校を支援した。
  - ・青少年育成春日部市民会議と市・教育委員会の共催による第30回かすかべ郷土かるた大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて実施した。
  - ・子どもたちが春日部市に誇りを持ち、郷土愛を高める活動として、かすかべ郷土かるたを活用し、小学3年生を対象に郷土学習を実施した。
  - ・春日部市PTA連合会・青少年育成推進員協議会・春日部法人会・青少年育成春日部市民会議が連携活動実行委員会を組織し、教育委員会との共催により、親子の体験活動の機会を創出するため、連携活動事業「親子サイエンスショー」を実施した。
  - ・共栄大学・春日部青年会議所・教育委員会が子ども大学かすかべ実行委員会を組織し、子どもたちの知的好奇心を刺激する講義や体験活動を行う子ども大学かすかべを実施した。
  - ・青少年の体験活動の機会を創出するため、包括的連携協定を締結しているララガーデン春日部と共催で、「不思議な漢字洞窟から脱出しよう（事業協力：日本漢字能力検定協会）」、「はじめてのおしごと」イベントを実施した。
- 様々な体験活動や交流活動を行い、子ども達の心豊かな育みと地域の教育力向上を図る「放課後子ども教室推進事業」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて実施した。
  - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、密を避けるために高学年と低学年に分けての実施、校庭や体育館での実施などの工夫をして放課後子ども教室を実施した。

#### 今後の課題

- 都市化や少子化、情報化の進行、地域におけるコミュニティ意識の希薄化などにより、地域社会の中で青少年を見守る体制が十分整っていない状況であることから、地域・家庭・学校がそれぞれ期待される役割を果たす仕組みづくりが求められている。
- 地域全体で子どもたちを育むため、地域・家庭・学校が相互に連携し、社会総がかりで多様な体験や活動を行う機会を増やすことが求められている。

#### 評価

青少年の地域活動・ボランティア活動機会の創出のため、ボランティア手帳を配布することにより、豊かな人間性や自主性、協調性などを培う活動を推進していることは評価できる。

青少年が体験活動をする機会が少なくなっている中、大学や関係団体と連携して「子ども大学かすかべ」などの体験活動事業を実施しただけでなく、包括的連携協定を締結している企業と連携して体験活動の機会を創出したことは評価できる。

今後も、学習やスポーツ・文化芸術、地域住民との交流等の活動機会を提供することにより、子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりに努めていただきたい。

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)								
青少年教育事業	<p>112千円</p> <p>①青少年地域活動・ボランティア活動等における表彰等用紙配付枚数 ・ボランティア手帳：160冊（令和3年度配付数：2,740冊） ・表彰状：3,660枚（令和3年度配付数：5,930枚）</p> <p>②小学3年生を対象にした郷土学習 ・実施学校数：22校（令和3年度実施校数：21校）</p> <p>③かすかべ郷土かるた大会 ・参加組数：33組 参加者数：95人 （令和3年度新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）</p> <p>④連携活動事業「親子サイエンスショー」 ・参加組数：67組 参加者数：167人 （令和3年度参加組数：105組 参加者数：292人）</p> <p>⑤子ども大学かすかべ ・実施日数：3日 延べ参加者数：53人 （令和3年度実施日数：3日 延べ参加者数：43人）</p> <p>⑥青少年体験活動事業 「不思議な漢字洞窟から脱出しよう」イベント ・参加者数：66人（令和3年度参加者数：104人） 「はじめてのおしごと」イベント ・参加者数：278人（新規）</p>	社会教育課 (③④：こども育成課)								
放課後子ども教室推進事業	<p>1,190千円</p> <p>地域住民の参画を得て、放課後子ども教室を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進した。 ・実施教室数：19校（令和3年度実施教室数：8校）</p> <p><b>【第2次総合振興計画前期基本計画の成果指標における目標及び経過】</b></p> <table border="1" data-bbox="391 1220 1252 1377"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和3年度末実績</th> <th>令和4年度末実績</th> <th>基本計画目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放課後子ども教室の登録児童の割合</td> <td>6.6%</td> <td>12.9%</td> <td>30.0%</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和3年度末実績	令和4年度末実績	基本計画目標値	放課後子ども教室の登録児童の割合	6.6%	12.9%	30.0%	社会教育課 (こども育成課)
施策の成果指標	令和3年度末実績	令和4年度末実績	基本計画目標値							
放課後子ども教室の登録児童の割合	6.6%	12.9%	30.0%							

基本目標	3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち
政策	2. 一人ひとりの個性と人権が尊重されるまちをつくる
施策	1. 人権を尊重するまちづくりの推進

#### 令和4年度の主な取組

- 人権は、一人ひとりが生まれながらにして持っている大切な権利であるとの認識に立ち、様々な啓発事業を実施し、人権意識の高揚を図った。
- ・公民館と連携した人権教育研修を実施した。
  - ・小・中・義務教育学校と連携した人権作文・ポスター作成などによる人権教育の普及・啓発を実施した。
  - ・人権ポスター展の実施や人権啓発ビデオ等の貸し出しを実施した。
  - ・市長部局との連携により、職員を対象とした人権同和研修等を実施した。
  - ・部落差別をはじめとしたあらゆる人権問題の早期解決に向け、地域間の交流を通じて、地域住民の人権意識の高揚と正しい理解を図るため、埼葛12市町の連携により「第31回埼葛人権を考えるつどい」を久喜市で開催した。
  - ・春日部市人権教育推進協議会へ補助金を交付し、活動の支援を行うとともに、協議会との連携による駅頭キャンペーン等による人権啓発を実施した。

#### 今後の課題

- 社会経済が発展する一方で、人と人との関係は希薄化・孤立化しており、あらためて「心の豊かさ」が問い直されている。部落差別や女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人、アイヌの人々、HIV（エイズウイルス）感染者等、犯罪被害者、北朝鮮拉致被害者、刑を終え出所した人、性的指向や性同一性障がい者、LGBTQ+の性的少数者、ホームレスなどの人権問題が依然として存在している中で、最近では新型コロナウイルス感染症の影響による感染者や医療従事者に対する差別、ヤングケアラーなど、新たな人権問題が発生している。このため、引き続き人権意識の向上のために啓発活動を継続する必要がある。

#### 評価

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで市民アカデミーを開催し、「人権啓発事業に参加して、人権問題についての関心や理解が深まった市民の割合」が95.7%となり、第2次春日部市総合振興計画前期基本計画の目標値を達成したことや、人権ポスター展を初めて武里出張所でも開催するなど、人権意識の高揚を図るための取り組みを着実に進めることができたことは評価できる。

新型コロナウイルス感染症の影響による感染者や医療従事者に対する差別、ヤングケアラーなど新たな人権問題も発生しており、今後も差別のない社会の実現に向け、関係団体との連携を図りつつ、人権啓発を推進していただきたい。

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)								
人権教育推進協議会補助金	<p>621千円</p> <p>①人権教育・同和教育研修の推進 ・市民対象：15回、1,461人参加</p> <p>②人権・同和問題啓発物の広報紙への掲載 ・年4回市広報に「人権それは愛」を掲載（埼葛12市町共同）</p> <p>③市民アカデミー ・R4. 10. 13 春日部市民文化会館小ホール 人権作文発表（4人）と人権ポスターの展示（78点） 教育講演会「ヤングでは終わらないヤングケアラー」73人参加</p> <p>④人権ポスター展の開催 ・教育センター1階ホール、武里出張所 R4. 11. 24～11. 30 ・市役所市民ホール R4. 12. 1～12. 8 ・庄和総合支所市民ギャラリー R4. 12. 9～12. 16</p> <p>⑤人権週間駅頭キャンペーンの実施 ・R4. 12. 2 参加者38人。人権週間PRのため啓発品4,000個を配布</p> <p>⑥人権教育・同和教育映画等の購入（DVD2本購入） ・「性の多様性とLGBTQ+～誰もが自分らしく生きるために～」 ・「スマホは情報モラルが大切②」</p> <p>⑦人権教育・同和教育教材の貸し出し ・91回 2,677人</p> <p>⑧第31回埼葛人権を考えるつどい ・R4. 10. 6 久喜総合文化会館 約2,500人参加</p> <p>これらの事業を通じて、市民の人権尊重意識の普及・高揚を図った。</p> <p>【第2次総合振興計画前期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="392 1167 1254 1379"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和3年度末 実績</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人権啓発事業に参加して、 人権問題についての関心や 理解が深まった市民の割合</td> <td>91.1%</td> <td>95.7%</td> <td>91.7%</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値	人権啓発事業に参加して、 人権問題についての関心や 理解が深まった市民の割合	91.1%	95.7%	91.7%	社会教育課
施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値							
人権啓発事業に参加して、 人権問題についての関心や 理解が深まった市民の割合	91.1%	95.7%	91.7%							

基本目標	3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち
政策	3. だれもが学べ、地域に生かせるまちをつくる
施策	1. 社会教育の充実

#### 令和4年度の主な取組

- 学習活動に取り組む市民の意識の高まりがある中、心豊かに充実した生活を送ることができる社会づくりが重要となっていることから、様々な事業を展開した。
  - ・社会教育関係団体事業費補助金を子ども会育成連絡協議会、ボーイスカウト連絡協議会、ガールスカウト連絡会、連合婦人会、PTA連合会、文化連合会へ交付し、活動の支援を図った。
  - ・社会教育委員会議では、令和4年度～令和5年度の調査・研究テーマを「デジタル社会における社会教育について」とし、提言策定に向け社会教育関係団体等への現状調査アンケートを実施し、①社会教育事業への参加、②社会教育事業の実施の両面で課題を抽出し、改善策の検討を行った。
  - ・人権・社会同和教育研修を開催した。
  - ・二十歳を祝う会は成人式から名称を変更し、公募委員を含む20人の実行委員会を組織して準備を進め、市民との協働により工夫をこらした式典を、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで開催した。
  - ・公民館等の社会教育施設において、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、参加者のスマートフォンを利用した事業（スマホ講座）を実施した。
- 図書館では、電子書籍の拡充に努めるとともに、小学校及び義務教育学校1年生を対象としたセカンドブック事業「らんどせるブックかすかべ」において、これまで行ってきた絵本、図書館利用券、読書通帳のプレゼントと併せて、新たに電子書籍サービス「かすかべ電子図書館」の利用登録を行った。
- 市民の学習意欲に対応するため、地域の学習拠点となる公民館、視聴覚センター、図書館などの学習環境を整備している。
  - ・施設の老朽化に対応するため、施設修繕を計画的に実施した。
  - ・家庭教育学級、視聴覚教育関係講座・教室などの事業を実施し、市民の活発な学習活動を促進した。
  - ・公民館だより、ホームページ、学習情報サロンなどを活用し、学習に関する情報提供を進めた。
  - ・新型コロナウイルス感染症対策に伴うガイドラインを制定し、対策を徹底した。
  - ・新型コロナウイルス感染症対策として、各館のトイレを和式から洋式に改修した。  
(219基のうち90基→130基) 洋式化率41.1%→59.3%
- 内牧地区公民館の新駐車場整備が完了したため、全面供用を開始した。
- 中央公民館及び豊野地区公民館の屋上防水改修工事等が完了した。
- 視聴覚センターでは機能を生かした事業として、小学校向けに「子どもメディア体験講座」を開催し、様々なメディアを使って調べ、考え、まとめ、発表できる児童生徒の育成に努めた。また、市民パソコンセミナーについては市民ニーズに対応し、講座の充実を図った。

## 今後の課題

- 学習活動に取り組む市民の意識の高まりがある中、市民が安心して学ぶことができるよう新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、学習機会の確保及び学習成果の発表の機会を充実させることが求められている。
- 学校・家庭・地域の連携や社会教育関係団体の協力などにより、家庭・地域の教育力の向上を図ることや、市民の学習機会の確保及び学習成果の発表の機会を充実させることが重要である。
- 社会教育委員会より提出された提言書「地域活性化につながる社会教育について」を受けて、関係部署、市内小・中学校及び義務教育学校、市民等へ周知し、提言の趣旨を反映した社会教育事業の展開につなげていく必要がある。
- 平成29年3月に公民館運営審議会より提出された意見書「春日部市公民館の方向性について」に基づいた具体的な施策の実施を図り、各種団体との連携を強化・拡充する必要がある。
- 公民館施設の多くは経年による老朽化や機能低下が進行しているため、施設の改修・建替を適切なタイミングで実施し、良好な学習環境を維持することが重要となる。
- 近年、施設の老朽化が激しいため、市民からの施設の補修・修繕の要求が高まっている。また、市民のニーズに対応した事業の実施が望まれている。
- 市民から快適な施設利用に対する要望が高まっている。
- 視聴覚センターの貸出し機材が老朽化している。市民の貸出しニーズに対応した新しい貸出し機材の要望が高まってきている。

## 評 価

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、デジタルの活用が社会に急速に浸透している中、社会教育委員会において「デジタル社会における社会教育について」をテーマとし、提言策定に向けて調査・研究を行ったことは評価できる。

学習活動拠点として、感染症防止対策を徹底したうえで、ICTを活用した講座等の充実を行い、市民の学習機会を確保したこと、計画的な施設・備品修繕の実施など、市民の学習環境の向上を図ったことは評価できる。

図書館においては、電子書籍の拡充や小学校及び義務教育学校1年生に電子書籍サービス「かすかべ電子図書館」の利用登録を行い、デジタル社会に対応した読書環境の推進に努めたことは評価できる。

公民館においては、利用者が安心・安全に活動できるよう各地区公民館のトイレ洋式化を進めたこと及び内牧地区公民館新駐車場完成並びに中央公民館・豊野地区公民館の屋上防水改修工事等が完了したことは評価できる。

引き続き、学校教育をはじめ様々な関係機関との連携を強化・拡充することにより、より一層社会教育の充実に努めていただきたい。

今後も市民がより利用しやすい施設とするための計画的な施設修繕や利用団体の活動・学習相談体制の充実を進めたい。利用者数の減少した施設については、その要因を分析し、利用者数の向上に向けた研究を進めたい。

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)								
二十歳を祝う会実施事業	1,490千円 ●令和5年二十歳を祝う会 対象者：2,098人 出席者：1,354人（出席率64.5%） 期日・場所：1月8日（日）、市民文化会館大ホール・小ホール 内 容：オープニング・イベント 二十歳を祝う会実行委員会制作ビデオの上映 「恩師からのメッセージ」 出演：対象者の中学校第3学年時の担任等恩師 67人 ※メッセージのみをくださった恩師 6人 計73人  式典 実行委員会委員による司会及び二十歳の誓いを実施 動画メッセージ（かすかべ親善大使他1人）	社会教育課								
社会教育関係団体補助金	3,568千円 子ども会 育成指導者研修会、各種事業協力、広報誌の発行 ボーイスカウト キャンプ、講習会、各種奉仕活動 ガールスカウト キャンプ、リーダー講習会、各種奉仕活動 連合婦人会 研修会、講習会 PTA連合会 研修会、安全対策事業、広報誌の発行 文化連合会 文化の祭典、発表会、各種イベント参加	社会教育課								
社会教育総務事務	1,274千円 社会教育委員会議 3回開催（R4.6.28、R4.12.23、R5.3.22） ・テーマ「デジタル社会における社会教育について」 市民アカデミー（人権作文発表と教育講演会）R4.10.13 73人参加 人権・同和教育研修 15回開催（公民館等との連携） 人権啓発（人権週間駅頭キャンペーン、啓発ビデオ貸出等）  【第2次総合振興計画前期基本計画の成果指標における目標及び経過】 <table border="1" data-bbox="392 1429 1254 1552"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和3年度末実績</th> <th>令和4年度末実績</th> <th>基本計画目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会教育事業への参加者数</td> <td>341,401人</td> <td>409,556人</td> <td>640,000人</td> </tr> </tbody> </table> 1回 1,947人(2,488人)	施策の成果指標	令和3年度末実績	令和4年度末実績	基本計画目標値	社会教育事業への参加者数	341,401人	409,556人	640,000人	社会教育課
施策の成果指標	令和3年度末実績	令和4年度末実績	基本計画目標値							
社会教育事業への参加者数	341,401人	409,556人	640,000人							

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)																																																																																																
公民館運営事業(主催事業)	<p>287,555千円(公民館運営事業(施設維持・管理等)を含む)</p> <p>中央公民館及び各地区公民館において、各種講座や諸集会の事業を行い、市民の学習活動の促進を図った。なお、展示や講座等は前年度と事業内容が異なる場合がある。また、回数または団体数が「0」のところは新型コロナウイルス感染症の影響により中止したもの。</p> <p>○中央公民館 ※()は3年度</p> <table border="0"> <tr><td>音楽鑑賞会</td><td>1回</td><td>193人</td><td>(350人)</td></tr> <tr><td>市民県展入選作品展</td><td>1回(6日間)</td><td>870人</td><td>(-)</td></tr> <tr><td>自然観察会</td><td>0回</td><td>-</td><td>(71人)</td></tr> <tr><td>かすかべライブフェスタ</td><td>1回</td><td>139人</td><td>(106人)</td></tr> <tr><td>音響操作セミナー</td><td>1回(2日間)</td><td>10人</td><td>(10人)</td></tr> <tr><td>講堂機器操作説明会</td><td>5回</td><td>53人</td><td>(11人)</td></tr> <tr><td>教養講座</td><td>0回</td><td>-</td><td>(15人)</td></tr> <tr><td>16公民館合同フェスティバル</td><td>1回(6日間)</td><td>2,217人</td><td>(-)</td></tr> <tr><td>中央公民館利用者協議会(陶芸窯利用者のつどい)</td><td>1回</td><td>27人</td><td>(-)</td></tr> <tr><td>企画展示会(障がい者作品展)</td><td>1回(6日間)</td><td>1,159人</td><td>(860人)</td></tr> <tr><td>    (災害報道写真展)</td><td>1回(6日間)</td><td>186人</td><td>(222人)</td></tr> <tr><td>    (深海調査船がみた深海生物)</td><td>1回(6日間)</td><td>262人</td><td>(131人)</td></tr> <tr><td>さくらまつり</td><td>0回</td><td>-</td><td>(-)</td></tr> <tr><td>キッズフェスティバル</td><td>1回</td><td>105人</td><td>(140人)</td></tr> <tr><td>年少リーダー研修会</td><td>16回(16日間)</td><td>132人</td><td>(125人)</td></tr> <tr><td>サークル体験月間(実地・活動報告)</td><td>(21団体参加)</td><td>43人</td><td>(38人)</td></tr> <tr><td>公民館研究大会</td><td>1回</td><td>57人</td><td>(-)</td></tr> </table>	音楽鑑賞会	1回	193人	(350人)	市民県展入選作品展	1回(6日間)	870人	(-)	自然観察会	0回	-	(71人)	かすかべライブフェスタ	1回	139人	(106人)	音響操作セミナー	1回(2日間)	10人	(10人)	講堂機器操作説明会	5回	53人	(11人)	教養講座	0回	-	(15人)	16公民館合同フェスティバル	1回(6日間)	2,217人	(-)	中央公民館利用者協議会(陶芸窯利用者のつどい)	1回	27人	(-)	企画展示会(障がい者作品展)	1回(6日間)	1,159人	(860人)	(災害報道写真展)	1回(6日間)	186人	(222人)	(深海調査船がみた深海生物)	1回(6日間)	262人	(131人)	さくらまつり	0回	-	(-)	キッズフェスティバル	1回	105人	(140人)	年少リーダー研修会	16回(16日間)	132人	(125人)	サークル体験月間(実地・活動報告)	(21団体参加)	43人	(38人)	公民館研究大会	1回	57人	(-)																													
音楽鑑賞会	1回	193人	(350人)																																																																																															
市民県展入選作品展	1回(6日間)	870人	(-)																																																																																															
自然観察会	0回	-	(71人)																																																																																															
かすかべライブフェスタ	1回	139人	(106人)																																																																																															
音響操作セミナー	1回(2日間)	10人	(10人)																																																																																															
講堂機器操作説明会	5回	53人	(11人)																																																																																															
教養講座	0回	-	(15人)																																																																																															
16公民館合同フェスティバル	1回(6日間)	2,217人	(-)																																																																																															
中央公民館利用者協議会(陶芸窯利用者のつどい)	1回	27人	(-)																																																																																															
企画展示会(障がい者作品展)	1回(6日間)	1,159人	(860人)																																																																																															
(災害報道写真展)	1回(6日間)	186人	(222人)																																																																																															
(深海調査船がみた深海生物)	1回(6日間)	262人	(131人)																																																																																															
さくらまつり	0回	-	(-)																																																																																															
キッズフェスティバル	1回	105人	(140人)																																																																																															
年少リーダー研修会	16回(16日間)	132人	(125人)																																																																																															
サークル体験月間(実地・活動報告)	(21団体参加)	43人	(38人)																																																																																															
公民館研究大会	1回	57人	(-)																																																																																															
公民館運営事業(主催事業)	<p>○粕壁地区公民館・粕壁南公民館</p> <table border="0"> <tr><td>教養講座</td><td>0回</td><td>-</td><td>(-)</td></tr> <tr><td>婦人講座</td><td>3回</td><td>71人</td><td>(67人)</td></tr> <tr><td>幼児家庭教育学級</td><td>11回</td><td>256人</td><td>(229人)</td></tr> <tr><td>社会を明るくする運動研修会</td><td>0回</td><td>-</td><td>(-)</td></tr> <tr><td>夏休み子ども体験教室(生け花と音楽のコンサート)</td><td>1回</td><td>15人</td><td>(26人)</td></tr> <tr><td>粕壁地区体育祭</td><td>0回</td><td>-</td><td>(-)</td></tr> <tr><td>公民館フェスティバル「親子コミュニティ」</td><td>0回</td><td>-</td><td>(-)</td></tr> <tr><td>小学生期家庭教育学級</td><td>0回</td><td>-</td><td>(-)</td></tr> <tr><td>粕壁地区壮年ソフトボール大会</td><td>1回(2日間)</td><td>270人</td><td>(-)</td></tr> <tr><td>コミュニティミニコンサート</td><td>0回</td><td>-</td><td>(-)</td></tr> <tr><td>子ども体験教室(しめ縄)</td><td>1回</td><td>29人</td><td>(-)</td></tr> <tr><td>利用団体代表者会議</td><td>1回</td><td>40人</td><td>(-)</td></tr> <tr><td>中学生期家庭教育学級「車イスバスケットボール」</td><td>0回</td><td>-</td><td>(-)</td></tr> <tr><td>ジュニア囲碁スクール</td><td>12回</td><td>72人</td><td>(42人)</td></tr> <tr><td>公民館だより「桐のまち」の発行</td><td>6回</td><td>16,400部/回</td><td></td></tr> <tr><td>サークル体験月間</td><td>13団体</td><td>28人</td><td>(36人)</td></tr> <tr><td>かすかべカフェ</td><td>13回</td><td>317人</td><td>(100人)</td></tr> <tr><td>健康をかんがえる</td><td>42回</td><td>867人</td><td>(94人)</td></tr> <tr><td>コミセン茶屋</td><td>10回</td><td>202人</td><td>(95人)</td></tr> <tr><td>映画上映会のつどい</td><td>開催なし</td><td>-</td><td>(-)</td></tr> <tr><td>人権教育研修会</td><td>1回</td><td>40人</td><td>(-)</td></tr> <tr><td>音楽鑑賞会</td><td>1回</td><td>53人</td><td>(32人)</td></tr> <tr><td>夏休み子ども体験教室(ラダーゲッター)</td><td>1回</td><td>7人</td><td>(18人)</td></tr> <tr><td>粕南フェス</td><td>1回</td><td>421人</td><td>新規</td></tr> </table>	教養講座	0回	-	(-)	婦人講座	3回	71人	(67人)	幼児家庭教育学級	11回	256人	(229人)	社会を明るくする運動研修会	0回	-	(-)	夏休み子ども体験教室(生け花と音楽のコンサート)	1回	15人	(26人)	粕壁地区体育祭	0回	-	(-)	公民館フェスティバル「親子コミュニティ」	0回	-	(-)	小学生期家庭教育学級	0回	-	(-)	粕壁地区壮年ソフトボール大会	1回(2日間)	270人	(-)	コミュニティミニコンサート	0回	-	(-)	子ども体験教室(しめ縄)	1回	29人	(-)	利用団体代表者会議	1回	40人	(-)	中学生期家庭教育学級「車イスバスケットボール」	0回	-	(-)	ジュニア囲碁スクール	12回	72人	(42人)	公民館だより「桐のまち」の発行	6回	16,400部/回		サークル体験月間	13団体	28人	(36人)	かすかべカフェ	13回	317人	(100人)	健康をかんがえる	42回	867人	(94人)	コミセン茶屋	10回	202人	(95人)	映画上映会のつどい	開催なし	-	(-)	人権教育研修会	1回	40人	(-)	音楽鑑賞会	1回	53人	(32人)	夏休み子ども体験教室(ラダーゲッター)	1回	7人	(18人)	粕南フェス	1回	421人	新規	中央公民館
教養講座	0回	-	(-)																																																																																															
婦人講座	3回	71人	(67人)																																																																																															
幼児家庭教育学級	11回	256人	(229人)																																																																																															
社会を明るくする運動研修会	0回	-	(-)																																																																																															
夏休み子ども体験教室(生け花と音楽のコンサート)	1回	15人	(26人)																																																																																															
粕壁地区体育祭	0回	-	(-)																																																																																															
公民館フェスティバル「親子コミュニティ」	0回	-	(-)																																																																																															
小学生期家庭教育学級	0回	-	(-)																																																																																															
粕壁地区壮年ソフトボール大会	1回(2日間)	270人	(-)																																																																																															
コミュニティミニコンサート	0回	-	(-)																																																																																															
子ども体験教室(しめ縄)	1回	29人	(-)																																																																																															
利用団体代表者会議	1回	40人	(-)																																																																																															
中学生期家庭教育学級「車イスバスケットボール」	0回	-	(-)																																																																																															
ジュニア囲碁スクール	12回	72人	(42人)																																																																																															
公民館だより「桐のまち」の発行	6回	16,400部/回																																																																																																
サークル体験月間	13団体	28人	(36人)																																																																																															
かすかべカフェ	13回	317人	(100人)																																																																																															
健康をかんがえる	42回	867人	(94人)																																																																																															
コミセン茶屋	10回	202人	(95人)																																																																																															
映画上映会のつどい	開催なし	-	(-)																																																																																															
人権教育研修会	1回	40人	(-)																																																																																															
音楽鑑賞会	1回	53人	(32人)																																																																																															
夏休み子ども体験教室(ラダーゲッター)	1回	7人	(18人)																																																																																															
粕南フェス	1回	421人	新規																																																																																															

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)			R4担当課 (R5担当課)
公民館運営事業 (主催事業)	○内牧地区公民館・内牧南公民館			
	子育てサロン(内牧プレイルーム)	10回	192人	(126人)
	うちまき緑のコンサート	1回	130人	(80人)
	幼児家庭教育学級 (パパママの子育て学級)	3回	58人	(56人)
	避難・炊き出し・避難所運営訓練	1回	58人	(24人)
	趣味の講座	3回	44人	(32人)
	内牧地区婦人バレーボール大会	0回	-	(-)
	少年少女球技大会	0回	-	(-)
	内牧ふれあい講座	3回	54人	(50人)
	青少年体験教室	1回	32人	(-)
	家族ふれあい教室 (うちまき蝶の観察会)	1回	20人	(25人)
	内牧地区体育祭	0回	-	(-)
	青少年体験教室(夏休み子ども納涼祭)	0回	-	(-)
	内牧地区文化祭	1回	160人	(-)
	教養講座	7回	95人	(34人)
	小学生期家庭教育学級	0回	-	(-)
	うちまき南 遊楽座 ～将棋～	0回	-	(-52人)
	公民館利用者のつどい・人権研修会	2回	16人	(-)
	福祉大会	0回	-	(-)
	サークル見学・体験	0団体	-	(-)
	公民館だより「うちまき」の発行	6回	4,700部/回	
	○豊春地区公民館・豊春第二公民館			
	みんなが集えるアート展	1回	2670人	(3500人)
	いきいき学級	4回	205人	(36人)
	豊春演芸のつどい	1回	150人	(-)
	遊学会「親子で作ろう！工作用紙で恐竜づくり」	1回	26人	(31人)
	遊学会「やさしい！わかる！パソコン教室」	1回	10人	新規
	おもしろ科学教室	1回	27人	(25人)
	学社連携事業	2回	58人	(31人)
	豊春地区体育祭	0回	-	(-)
	豊春地区公民館文化祭	1回	200人	(-)
	豊春第二公民館文化祭	1回	350人	(-)
	小・中学生期家庭教育学級	1回	46人	(-)
	PAセミナー	3回	23人	(40人)
	公民館利用者のつどい	3回	57人	(47人)
	人権問題研修会	2回	48人	(-)
	とよはる音楽祭	1回	115人	(-)
小学生料理教室	1回	14人	(-)	
お楽しみウォーキング	1回	11人	(32人)	
干支のつるし飾り	1回	13人	(10人)	
豊町自治会豊春第二公民館 合同防災訓練	1回	50人	(23人)	
高齢者向けスマホ教室	6回	163人	(-)	
えんJOYトレーニング	47回	684人	(459人)	
サークル体験	0回	-	(-)	
親子の広場	24回	429人	(344人)	
えほんの広場	12回	56人	(79人)	
オレンジカフェ	22回	173人	(112人)	
公民館だより「豊春」の発行	9回	14,000部/回		

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)			R4担当課 (R5担当課)	
公民館運営事業(主催事業)	○武里地区公民館・武里東公民館			中央公民館	
	防災対策事業	28回	317人		(583人)
	あそぼうよ!	0回	-		(-)
	サマーキッズフェスタ・キッズフェスタ	4回	142人		(91人)
	子育てサロン	10回	244人		(164人)
	いもほり!!!~みんなあつまれ2022~	3回	99人		(182人)
	ふれあい教室「目指せ!星博士」	3回	20人		(57人)
	武里小学校放課後子ども教室	11回	375人		(145人)
	ふれあい教室「いこーよ!こーみんかん」	0回	-		(-)
	たけさとカフェ	13回	365人		(213人)
	パソコンの操作を学ぼう!	11回	45人		(31人)
	家庭教育講演会	0回	-		(-)
	幼児家庭教育学級(子育て広場)	0回	-		(-)
	くらしの講座	0回	-		(-)
	家庭教育学級	1回	15人		(-)
	武里市民センターまつり	1回(3日間)	913人		(1,022人)
	たけさとBunkaウィーク	0回	-		(-)
	趣味講座「うちdeつくろう!」	0回	-		(29人)
	武里地区体育祭	0回	-		(-)
	サークルスタート	8回	58人		(2団体)
	日食をみてみよう!	0回	-		(-)
	公民館利用者会議	2回	39人		(45人)
	グラウンド利用団体代表者調整会議	6回	123人		(124人)
	人権教育研修会	2回	39人		(38人)
	オレンジカフェ「アサンテたけさと」	12回	213人		(168人)
	オレンジカフェ	12回	222人		(179人)
	えんトレ体操サポーター養成講座	0回	0人		(23人)
	えんJOYトレーニング	45回	635人		(487人)
	教養講座「春・秋の散策」	2回	34人		(18人)
	教養講座「夏の短期自習室」	2回	16人		(4人)
やってみよう!!スマホでインターネット	2回	15人	(-人)		
公民館だより「武里」の発行	12回	16,500部/回			

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)			R4担当課 (R5担当課)	
公民館運営事業(主催事業)	○幸松地区公民館・幸松第二公民館			中央公民館	
	スポーツ広場	32回	460人		(365人)
	子育てサロン	12回	130人		(53人)
	こうまつ寺子屋	8回	226人		(116人)
	幸松地区体育振興会各種スポーツ事業	3回	98人		(83人)
	幼児家庭教育学級①②	2回	19人		(28人)
	幸松地区体育祭	0回	-		(-)
	幸松ふれあい文化祭	1回(1日)	792人		(-)
	小・中学生期家庭教育学級	1回	37人		(-)
	小学生料理教室	0回	-		(-)
	利用者のつどい	1回	40人		(42人)
	人権問題研修会	1回	40人		(42人)
	むかしの遊び教室	0回	-		(-)
	こうまつ音楽祭	0回	-		(-)
	サークル体験会	1回	7人		(5人)
	オープン講座	1回	9人		(42人)
	幸松地区防災のつどい	1回	47人		(98人)
	はじめてのパソコン教室	0回	-		(-)
	折り紙で作る干支飾り「～うさぎ～」	1回	15人		(16人)
	「睡眠」と「健康」の知恵袋講座	1回	15人		(-)
	健康歌声ひろば	1回	29人		(-)
	幸松第二公民館利用者作品展	12回	3団体		(-)
	公民館まつり	1回	350人		新規
	公民館だより「ふじの里」の発行	6回	8,700部/回		
	○豊野地区公民館・藤塚公民館				
	公民館利用者のつどい	1回	41人		(22人)
	小・中学生期合同家庭教育学級	0回	-		(-)
	子育てふれあいサロン	17回	157人		(124人)
	みんなでピンポン	23回	274人		(-)
	ふれあい教室	3回	46人		(66人)
	チャレンジ教室	30回	138人		(410人)
	必ず役立つ入門講座	2回	21人		(19人)
	豊野キッズフェスタ	0回	-		(-)
	人権教育研修会	1回	41人		(22人)
	豊野地区体育祭	0回	-		(-)
	三世代交流スポーツフェスティバル	1回	260人		(-)
豊野地区文化祭	1回	148人	(106人)		
豊野地区文化連盟サークル体験会	1回	55人	(-)		
豊野地区公民館ロビー展	2回	-	(-)		
健康を考えるつどい	1回	29人	(35人)		
公民館だより「とよの」の発行	12回	6,500部/回			

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)			R4担当課 (R5担当課)	
公民館運営事業(主催事業)	○武里南地区公民館・武里大枝公民館				中央公民館
	クラブ・サークル連絡会	1回	66人	(43人)	
	子育てふれあいサロン	13回	310人	(173人)	
	小・中学生期合同家庭教育学級	0回	-	(-)	
	人権擁護事業	1回	66人	(43人)	
	青少年健全育成事業	4回	41人	(30人)	
	武里団地体育祭	0回	-	(-)	
	武里団地文化祭	0回	-	(-)	
	レクリエーションスポーツ	0回	-	(1,345人)	
	教養講座	28回	682人	(423人)	
	体験講座	13回	287人	(22人)	
	一知的書評合戦ービブリオバトル	1回	7人	(19人)	
	武里団地音楽鑑賞会	5回	681人	(-)	
	高齢者安心安全教室	0回	-	(-)	
	外国人による日本語スピーチ大会	1回	42人	新規	
	健康寿命をのばすウォーキング講座	1回	55人	新規	
	公民館だより「けやき」の発行	12回	6,000部/回		
	○庄和地区公民館・庄和南公民館				
	庄和地区市民大学	31回	800人	(811人)	
	公民館まつり	1回	1,496人	(-)	
	庄和地区体育祭	0回	-	(-)	
	正風館音楽祭	1回	222人	(-)	
	子育てサロン	7回	160人	(150人)	
	井戸端サロン	20回	255人	(-)	
	教養講座「今から取組もう!防災講座」	3回	49人	(55人)	
	Showaキッズびあ	1回	481人	(0人)	
	健康講座「楽しく学ぶ!認知症予防講座」	3回	55人	(19人)	
	しょうわ塾「バルーンアート」「初めて出会うコンチェルト」「星空教室」	3回	215人	(15人)	
	人権研修会	1回	29人	(20人)	
	利用者のつどい	1回	29人	(20人)	
	学校開放講座「パドル体操で身も心も健康に!」	1回	16人	(6人)	
	ステップアップギャラリー	11回	-	(-)	
	庄和地区芸能大会ふれあいステージ	1回	200人	新規	
	庄和南公民館ロビー展示イベント	1回	-	(-)	
	教養講座(庄和南)「モザイクタイルでコースターを作ろう」「大人のやさしいヨガ」「スマートフォン体験講習会」「初めての手打ちそば講習会」	6回	83人	新規	
	庄和南音楽鑑賞会「風薫コンサート」「庄和南ライブフェスタ」	2回	119人	新規	
	教養講座「庄和南将棋の広場」	11回	80人	新規	
	公民館だより「しょうわ」の発行	6回	13,500部/回		
	※展示や講座等は前年度と事業内容が異なる場合があります。※()は3年度				

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)																				
視聴覚センター運営事業	<p>13,325千円（施設維持管理・視聴覚関係講座の実施等）</p> <p>◆施設維持管理関係（物品、電算機器、電算システム等借上）</p> <p>カラー複写機、印刷機、紙折り機、メディア研修室パソコン、ライブラリー貸出管理システム、パソコン体験コーナー、研究開発室ネットワークシステム、施設利用案内表示システム</p> <p>◆事業関係</p> <p>視聴覚教育を通して、市民の生活文化と知識の向上を図り、社会教育と学校教育の振興を図るため、次の3つの機能を果たした。</p> <p>① 研修・学習センターとしての機能</p> <table border="0"> <tr> <td>110回</td> <td>1,549人</td> </tr> <tr> <td>・16ミリ映写機簡易技術講習会</td> <td>1回 8人</td> </tr> <tr> <td>・市民映像セミナー（ビデオ撮影基礎等）</td> <td>11回 56人</td> </tr> <tr> <td>・市民パソコンセミナー（入門編等）</td> <td>53回 349人</td> </tr> <tr> <td>・教職員対象研修（タブレット活用等）</td> <td>14回 209人</td> </tr> <tr> <td>・子どもメディア体験講座（TV番組制作体験）</td> <td>25回 778人</td> </tr> <tr> <td>・親子で楽しむ映画会</td> <td>2回 110人</td> </tr> <tr> <td>・走らせよう！プログラミングミニカー 講座</td> <td>4回 39人</td> </tr> </table> <p>◇施設利用状況</p> <table border="0"> <tr> <td>2,270回</td> <td>31,286人</td> </tr> </table> <p>② 教材センターとしての機能</p> <p>◇視聴覚ライブラリー利用状況</p> <table border="0"> <tr> <td>1,912回</td> <td>117,557人</td> </tr> </table> <p>・新規受け入れ教材 管理委託DVD 2本</p> <p>・視聴覚センター専門委員会 教材作成部会、学習情報部会、教材選定部会</p> <p>・映像制作及び制作支援</p> <p>・春日部市ビデオフェスティバル 第1部作品発表会の部 15作品 32人 第2部映像コンテストの部 応募数が達しないため中止</p> <p>③ 情報・研究センターとしての機能</p> <p>・学習情報サロン (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一部利用制限)</p> <p>・ミニギャラリー展示 5件</p> <p>・マイギャラリー展示 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止</p> <p>・ホームページの作成、管理、作成支援</p> <p>・関係機関との連携、研究</p>	110回	1,549人	・16ミリ映写機簡易技術講習会	1回 8人	・市民映像セミナー（ビデオ撮影基礎等）	11回 56人	・市民パソコンセミナー（入門編等）	53回 349人	・教職員対象研修（タブレット活用等）	14回 209人	・子どもメディア体験講座（TV番組制作体験）	25回 778人	・親子で楽しむ映画会	2回 110人	・走らせよう！プログラミングミニカー 講座	4回 39人	2,270回	31,286人	1,912回	117,557人	社会教育課
110回	1,549人																					
・16ミリ映写機簡易技術講習会	1回 8人																					
・市民映像セミナー（ビデオ撮影基礎等）	11回 56人																					
・市民パソコンセミナー（入門編等）	53回 349人																					
・教職員対象研修（タブレット活用等）	14回 209人																					
・子どもメディア体験講座（TV番組制作体験）	25回 778人																					
・親子で楽しむ映画会	2回 110人																					
・走らせよう！プログラミングミニカー 講座	4回 39人																					
2,270回	31,286人																					
1,912回	117,557人																					

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)						
公民館運営事業(施設維持・管理等)	<p>287,555千円(公民館運営事業(主催事業)を含む)</p> <p>施設数 16館 施設利用人数 中央公民館 65,960人 地区公民館 296,944人 合計 362,904人</p> <p>業務委託による維持管理(清掃業務、警備業務、施設設備保守管理業務等 41件) 施設修繕(空調機、消防設備等の修繕 121件) 物件修繕(公用車、備品等の修繕 14件)</p> <p>施設設備の適正な維持管理を行い、公民館利用者に対し安全な施設利用の提供を図ることができた。</p> <p>【社会教育施設の利用件数】</p> <table border="1" data-bbox="392 745 1091 904"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度末 実績</th> <th>令和4年度末 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会教育施設の利用件数 (公民館) (視聴覚センター)</td> <td>38,428件 (36,176件) (2,252件)</td> <td>41,579件 (39,309件) (2,270件)</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	社会教育施設の利用件数 (公民館) (視聴覚センター)	38,428件 (36,176件) (2,252件)	41,579件 (39,309件) (2,270件)	<p>中央公民館</p> <p>社会教育課 中央公民館</p>
	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績						
社会教育施設の利用件数 (公民館) (視聴覚センター)	38,428件 (36,176件) (2,252件)	41,579件 (39,309件) (2,270件)						
公民館設備改修事業	<p>71,320千円</p> <p>中央公民館屋上防水改修工事を実施した。</p>	中央公民館						
公民館トイレ改修事業	<p>13,343千円</p> <p>地方創生臨時交付金を活用し、各公民館のトイレを和式から洋式に40基改修した。これにより洋式化率が59.3%となった。</p>	中央公民館						
武里市民センター運営事業	<p>19,623千円</p> <p>武里地区公民館、高齢者福祉センター寿楽荘の2施設を管理運営するものである。</p> <p>業務委託による維持管理(清掃業務、警備委託、施設設備保守管理業務等)</p> <p>利用者に対し安全な施設利用の提供を図ることができた。</p> <p>武里市民センター開館日数 293日</p>	中央公民館						
正風館運営事業	<p>42,313千円</p> <p>庄和地区公民館、庄和コミュニティセンター、庄和勤労福祉センターの3施設を管理運営するものである。</p> <p>業務委託による維持管理(施設総合管理、大ホール舞台等音響保守点検業務等)</p> <p>利用者に対し安全な施設利用の提供を図ることができた。</p> <p>庄和市民センター開館日数 336日</p>	中央公民館						

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)
図書館運営事業	<p>344,323千円</p> <p>市民の生涯学習の要求に応えるため図書や視聴覚資料11,045点を購入し、市民に提供した。(令和3年度購入数 7,681点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所蔵資料数 747,792点 (令和3年度 743,488点)</li> <li>・来館者数 499,983人 (令和3年度 440,049人)</li> <li>・貸出数 969,047点 (令和3年度 977,497点)</li> </ul> <p>電子書籍サービス「かすかべ電子図書館」の利用を促進するため、電子書籍254冊を新たに購入した。(令和3年度購入数493冊)</p> <p>参加人数の制限等の新型コロナウイルス感染症対策を充分に行い「図書館を使った調べる学習コンクール」などの事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業開催数 590回 参加人数 8,941人 (令和3年度実績 事業開催数 572回 参加人数 8,447人)</li> </ul>	社会教育課

基本目標	3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち
政策	3. だれもが学べ、地域に生かせるまちをつくる
施策	2. 生涯学習の振興

#### 令和4年度の主な取組

- 新型コロナウイルス感染症拡大により、実施予定の講座等が中止となったものもあったが、新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底を図り、生涯学習の推進に関する様々な事業を展開した。
  - ・第2次春日部市生涯学習推進計画に基づき、実施計画関連事業を取りまとめ、全庁的な生涯学習の推進に努めた。
  - ・生涯学習市民推進員と公民館等の連携による生涯学習研究事業を実施した。
  - ・春日部市生涯学習人材情報登録制度において、個人・団体の指導者・ボランティアを登録し、生涯学習活動を支援した。
  - ・かすかべし出前講座を実施し、生涯学習人材情報登録者を講師とした「市民講師編」と、市職員を講師とした「行政編」で、市民に多様な学習機会を提供した。
  - ・生涯学習人材情報登録者を講師とした「生涯学習市民塾」を開催した。
  - ・生涯学習人材情報登録者を活用した「遊学1日体験教室」を開催し、多くの市民に体験学習の機会を提供した。
  - ・かすかべ遊学フェスティバルを実施し、生涯学習をPRした。
  - ・学習成果等が記録できる生涯学習パスポート「はるがく帳」を作成・配布し、市民の自主的な学習活動を奨励した。

#### 今後の課題

- 第2次春日部市生涯学習推進計画の円滑な推進に努める必要がある。
- 市民の学習意欲は高く、何かを学んだり、活動してみたいと思っていることから、市民のニーズを捉えた魅力ある講座、教室を提供するとともに、大学等の開放講座、博物館や資料館等の企画展など、様々な生涯学習機会の情報を市民一人ひとりに合わせて提供する必要がある。
- 市民が学習目標や計画を立てて継続的に学習活動に取り組めるようにすることが必要である。
- 生涯学習を一層推進する上で、市民の学習成果を地域で生かすことが重要であることから、学習成果を生かすための活動の場を確保することが必要である。
- 生涯学習人材情報登録制度による登録者を増加させるとともに、登録者の活動機会を拡大させる取組が必要である。
- 生涯学習市民推進員が、公民館等と連携した事業を一層推進するための取組が必要である。
- 新型コロナウイルス感染症対策の経験を生かし、市民が安心して学習に取り組める環境を提供する必要がある。

#### 評価

新型コロナウイルス感染症拡大により、講座等の事業の一部が中止となる中、感染症防止対策を徹底し、可能な限り市民への学習機会の提供を実施したことは評価できる。

今後においても、市民のニーズを捉えた講座等を企画し、市民が様々な講座等を安心して学ぶことができるよう各事業を計画的に推進していただきたい。

また、生涯学習人材情報登録者の活用機会を増やすため、生涯学習市民塾等の講座の実施方法・PR方法等を工夫し、より多くの市民が参加しやすい講座となるよう努めていただきたい。

今後も、行政・関係団体等で連携を図り、市民に生涯学習に対する意識啓発を行うとともに、市民が学習成果を生かす機会の充実を図っていただきたい。

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)												
生涯学習推進事業	<p>599千円</p> <p>春日部市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習推進計画令和4年度実施計画関連事業を取りまとめた。</p> <p>実施計画数 384 総事業数 2,620</p> <p>春日部市生涯学習市民推進員の企画・運営により、生涯学習事業の実施、交流紙の発行を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習研究事業 15 事業 参加者 542 人 (公民館等との連携事業)</li> <li>生涯学習交流紙「遊学」の発行 (No28、29)</li> </ul> <p>春日部市生涯学習人材情報登録制度の登録者を活用し、市民に多様な学習機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録数 139 件</li> <li>生涯学習市民塾 90 講座 参加者 1,333 人</li> <li>遊学1日体験教室 18 講座 参加者 177 人</li> </ul> <p>かすかべし出前講座を実施し、市民に多様な学習機会を提供した。</p> <p>メニュー数 196 件 実施 73 件 参加者 3,118 人</p> <p>かすかべ遊学フェスティバルを実施した。</p> <p>参加事業 54 事業 参加者 35,699 人</p> <p>生涯学習パスポート「はるがく帳」を配布した。 233 部</p> <p>【第2次総合振興計画前期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="391 1305 1252 1467"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和3年度末実績</th> <th>令和4年度末実績</th> <th>基本計画目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯学習関連事業数</td> <td>2,188事業</td> <td>2,676事業</td> <td>2,250事業</td> </tr> <tr> <td>かすかべし出前講座依頼件数</td> <td>37件</td> <td>73件</td> <td>140件</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和3年度末実績	令和4年度末実績	基本計画目標値	生涯学習関連事業数	2,188事業	2,676事業	2,250事業	かすかべし出前講座依頼件数	37件	73件	140件	社会教育課
施策の成果指標	令和3年度末実績	令和4年度末実績	基本計画目標値											
生涯学習関連事業数	2,188事業	2,676事業	2,250事業											
かすかべし出前講座依頼件数	37件	73件	140件											

基本目標	3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち
政策	4. 文化・芸術や郷土の歴史を大切にすまちをつくる
施策	1. 文化・芸術の創造と振興

#### 令和4年度の主な取組

- 心の豊かさが求められている中、文化芸術に対する市民の関心が高まっており、芸術を鑑賞する機会や文化芸術活動への支援が求められていることから、様々な事業を実施した。
- 公民館では、音楽鑑賞会など市民が身近に芸術文化に親しむことができる事業を展開した。
- 春日部市の芸術文化に関するホームページで情報提供などを行い、文化芸術に触れる機会と情報提供の充実を図った。
- 文化芸術団体が行う地域において優れた創作、創造等の文化芸術活動に対し、芸術文化振興事業補助金を交付し、活動の支援を図った。
- 市民文化会館については、吊り天井への対応を早急に行い、利用者の安心安全を確保するため春日部市民文化会館非構造部材（特定天井）耐震対策工事等設計業務を委託した。
- 春日部市美術展覧会（市展）は、高校生世代の出品料を無料とし、また、1人2点まで出品を可能にしたことで、出品者及び出品数が増加した。また、3年ぶりに「ギャラリートーク」・「ホワイエコンサート」を開催することで内容の充実に努め、来場者も増加した。
- 「彫刻のある街づくり」により設置された22体の彫刻のうち5体については、専門業者による清掃・メンテナンスを行った。また、公募の市民ボランティア及び職員ボランティアによる清掃についても3年ぶりに実施した。

#### 今後の課題

- 市民に喜びや感動、心の安らぎをもたらすため、芸術鑑賞の機会の提供や市民の活動へのさらなる支援を通じて、文化芸術の振興を図る必要がある。
- 市民の文化芸術に関する意識が全体的に高まりつつある中、文化芸術団体の相互交流の促進が必要である。
- 文化会館については、他に類似施設はなく、開設以来40年が経過した。経年により施設や設備に劣化や機能の低下がみられ、空調設備や給排水設備、舞台関係設備等に対し大規模改修等、抜本的な対策が必要となっている。このような中、大・小ホール等の吊天井については、早急に対応が必要であると考え、地方債を活用し令和5年度から改修工事を行っていく。工事の施工にあたっては、市の行事にできるだけ支障が生じないようにする必要があることから、最短の工期で確実に施工ができるよう工事監理を着実に行う。  
あわせて、指定管理者制度の導入等、今後の管理運営方法について検討を進める。  
なお、令和4年度の利用率は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための制限が緩和されたことにより61.2%（前年度比 7.0ポイント増）となったが、今後においても一層の利用者の満足度・利便性の向上を図っていく必要がある。
- 市展については、秋の恒例イベントとして定着しているが、今後においてさらなる出品数及び来場者数の増加を図っていくよう、新たな取り組みを積極的に行う必要がある。

#### 評価

市展は新たな試みとして、高校生世代の出品料を無料、また1人1部門2点まで可能とすることで、出品者及び出品数が前回展より増加したことは評価できる。また、3年ぶりにギャラリートークやホワイエコンサートを開催し、来場者数が増加したことは評価できる。

さらに、市民文化会館については、地方債を活用し、利用者の安心安全を確保するため、吊り天井の改修を実施していくことは評価できる。

今後も、文化芸術団体の自主的な活動の支援に努めるとともに、市民との協働による事業を推進し、様々な形で芸術文化の振興に努めていただきたい。

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)								
市民文化会館 運営事業	<p>184,827千円</p> <p>利用者が安全かつ快適に利用できるよう、施設・設備の管理運営に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 156,626人 (令和3年度利用者数 95,266人)</li> <li>・駐車場利用台数 46,216台 (令和3年度利用台数 34,653台)</li> </ul> <p>利用者数は前年度に比べ61,360人増加した。また、駐車場の利用台数は11,563台増加した。</p> <p>※平成28年4月1日より中央図書館利用者の駐車場使用料が1時間無料</p> <p>(1) 市民文化会館施設設備等の維持補修 市民や各種団体等の利用者が、安全かつ快適に施設を利用できるように市民文化会館の施設設備等の維持補修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・維持補修 (冷温水ポンプモーター交換修繕ほか)</li> </ul> <p>(2) 市民文化会館利用者サービスの充実 市民文化会館利用者の利用上や舞台演出上の相談に対しての助言を充実し、利用者の満足度を高めた。また、大ホール、小ホール、展示室の催し物の情報を市ホームページやチラシ配架等で広く市民に提供し、催し物の目的が達成できるよう支援した。</p> <p>【第2次総合振興計画前期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="391 929 1252 1093"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和3年度末 実績</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民文化会館利用率</td> <td>54.2%</td> <td>61.2%</td> <td>66.2%</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値	市民文化会館利用率	54.2%	61.2%	66.2%	学校総務課 (教育総務課)
施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値							
市民文化会館利用率	54.2%	61.2%	66.2%							
市民文化会館 トイレ改修事業	<p>10,450千円 (繰越明許費)</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (令和3年度補正分) を活用し、大ホール、小ホール及び3階男女トイレの和便器を洋便器へ修繕した。</p>									
芸術文化振興 事業	<p>7,146千円</p> <p>①芸術文化ホームページ「かすかべ遊学」の運営 アクセス数 4,206件 イベント情報掲載数26件 後援事業 承認25事業</p> <p>②春日部市美術展覧会 (第16回) 期 日 11/15～11/20 会 場 東部地域振興ふれあい拠点施設 展示数 232点 来場者数 3,493人 (WEB市展アクセス414件)</p> <p>③彫刻清掃市民ボランティア及び職員ボランティア (公募) 第1回 9/10 (18人) 第2回 3/11 (8人)</p> <p>④芸術文化振興事業補助金 交付18事業 交付額 1,960,000円</p> <p>これらの事業を通じ、市民の芸術文化活動を支援し、芸術文化活動の活性化を図るとともに、市民が身近に芸術文化に触れる機会の充実を図った。</p> <p>【第2次総合振興計画前期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="391 1881 1252 1989"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和3年度末 実績</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市展への出品数</td> <td>173件</td> <td>200件</td> <td>400件</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値	市展への出品数	173件	200件	400件	社会教育課
施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値							
市展への出品数	173件	200件	400件							

基本目標	3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち
政策	4. 文化・芸術や郷土の歴史を大切にすまちをつくる
施策	2. 郷土の歴史と文化遺産の保護と活用

#### 令和4年度の主な取組

- 文化財保護事業では、地域社会総がかりで文化遺産を保存・活用するためのマスタープランである春日部市文化財保存活用地域計画について計画案を作成したほか、文化遺産の保存の取組として、「神明貝塚5号墓出土装身具及び副葬品」の市有形文化財への指定や、史跡神明貝塚の公有地化に向けた農用地区域からの除外、標準地の不動産鑑定評価を進めた。また、民俗文化財4件の後継者養成事業や有形文化財2件の防災設備保守点検事業への補助金を交付した。記録保存の調査では、開発に先立つ埋蔵文化財の確認調査49件を実施し、令和3年度調査地点の発掘調査報告書を刊行した。  
文化遺産の活用の取組として、シンポジウム－神明貝塚－の開催や、「やじま橋」原位置への解説板設置、オンライン土器作り教室、小学校7校への出張授業、子ども大学かすかべへの講師派遣など、多様な機会を通じた普及啓発事業を実施した。
- 市史編さん事業では、「第2次春日部市市史編さん事業計画（第2期）」を策定するとともに、計画に基づき、自然誌編刊行に向けた調査・執筆を実施した。また、保存年限を経過した公文書のうち、歴史資料として重要な公文書の移管を受け、目録を作成した。
- 埋蔵文化財発掘調査受託事業では、小渕地内での民間開発に伴う発掘調査1件を受託した。
- 郷土資料館では、4回の企画展示を実施した。夏季展示では、「明治天皇と春日部」と題し、近代の皇室と春日部の歴史について紹介した。郷土資料館の来館者数は7,799人、講座等の参加者・利用者は2,548人を数えた。昨年度に引き続き実施した「でばりい資料館」は、7校8件、計758人を対象に実施した。

#### 今後の課題

- 市民が文化遺産を自らの宝や資源として認識し、共有するため、春日部市文化財保存活用地域計画の認定や、各種文化遺産の調査、保存、活用を推進する必要がある。また、史跡神明貝塚については、公有地化のための土地購入や、活用の担い手を確保するための普及啓発事業に継続的に取り組む必要がある。
- 市史の編さんについては、市の発展とともに市の歴史は継続するといった基本理念の下、第2次春日部市市史編さん事業計画（第2期）に基づき、自然誌編の刊行、地域資料の収集・整理・保存を促進する必要がある。
- 郷土資料館については、展示の更新の検討、企画展示の充実及び市民や児童生徒への学習支援活動の充実が求められている。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ホームページやブログの充実などICTを活用した多様なニーズに対応する工夫が求められている。
- 現在、各種文化遺産や市史資料、郷土資料などが公共施設や学校での分散管理を余儀なくされており、資料の一元化と適正な保管や有効的な公開活用を進める必要がある。

#### 評価

春日部市文化財保存活用地域計画の案を作成したこと、史跡神明貝塚の公有地化に向けた農用地区域からの除外を進めたこと、シンポジウムや小学校への出張授業など史跡の価値を市の内外に発信する普及啓発事業を推進したことは評価できる。今後は、文化庁による春日部市文化財保存活用地域計画の認定や、史跡をはじめとする文化遺産の保存・活用の一層の推進に努めていただきたい。

「第2次春日部市市史編さん事業計画（第2期）」の策定、自然誌編の調査・執筆を推進したことは評価できる。今後は、自然誌編の刊行、歴史的公文書を含む地域資料の収集・整理・保存の計画的な継続に努めていただきたい。

郷土資料館については、近代の皇室と春日部・埼玉県東部の歴史を紹介する企画展示を開催したことは、市民や児童生徒の学習意欲を高めたと評価できる。博学連携の促進のため、コロナ禍における社会科郷土学習の取組の一つとして実施している「でばりい資料館」についても、郷土資料館への団体見学とあわせて、特色ある学習機会として、創意工夫の上、活用を進めていただきたい。

各種郷土資料の適切な管理、保存に供する収蔵施設については、一元的な管理を実現するため、公共施設の管理・運営に関わる各部署と連携しながら施設の確保を進めるとともに、その積極的な公開と活用を図るための施設として整備し、さらなる市民への情報提供の充実と郷土愛の醸成に努めていただきたい。

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)								
文化財保護事業	<p>16,027千円</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>文化財保護審議会（2回開催） 文化財の指定や保護保存等を審議する文化財保護審議会を開催し、「神明貝塚5号墓出土装身具及び副葬品」を、新たに市の有形文化財に指定した。</li> <li>文化財保存活用地域計画協議会（3回開催） 地域計画の内容について協議を行い、計画案を作成した。</li> <li>普及啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン土器作り教室（45人）</li> <li>文化財等解説板設置（やじま橋原位置）</li> </ul> </li> <li>文化財所有者への補助事業 所有者等が行う無形民俗文化財の後継者養成事業4件、有形文化財の防災設備保守点検事業2件に対し、補助金を交付した。</li> <li>埋蔵文化財調査 開発行為に先立つ埋蔵文化財の確認調査を通年実施し、市内遺跡の保護を継続した（照会96件、確認調査49件）。</li> <li>史跡神明貝塚の保存・活用 史跡神明貝塚保存活用計画に基づき、公有地化に先立つ農用地区域からの除外、標準地の不動産鑑定評価、史跡の特徴や価値を発信するため県内史跡との連携によるシンポジウム、小学校7校への出張授業など多様な機会を通じた普及啓発事業を実施した。</li> </ol> <p>【第2次総合振興計画前期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="391 1167 1252 1272"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和3年度末 実績</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普及啓発事業の満足度</td> <td>92.6%</td> <td>93.8%</td> <td>86.0%</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値	普及啓発事業の満足度	92.6%	93.8%	86.0%	文化財保護課 (文化財課)
施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値							
普及啓発事業の満足度	92.6%	93.8%	86.0%							
市史編さん事業	<p>2,468千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市史編さん委員会（2回開催）</li> <li>市史編集会議（1回開催） 市史編さん事業では、「第2次春日部市市史編さん事業計画（第2期）」の策定、自然誌編刊行に向けた調査・執筆を実施した。</li> <li>歴史資料として重要な公文書等の収集、整理及び保存を行い、歴史資料の散逸防止を継続し、目録を作成した。</li> <li>『新編 図録 春日部の歴史』を、市役所、教育センター、庄和総合支所、道の駅「庄和」の市内4か所で頒布した。</li> <li>広報かすかべに「かすかべ今昔絵巻」を連載し、市の歴史を紹介した。</li> </ul>	文化財保護課 (文化財課)								

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)								
郷土資料館 運営事業	<p>7,288千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度年間入館者数 7,799人 (令和3年度 5,721人)</li> <li>・ミニ企画展示 (3/8～5/1・976人)</li> <li>・春季展示 (5/17～7/3・893人)</li> <li>・夏季展示 (7/20～9/4・1710人)</li> <li>・夏季展示記念シンポジウム (9/3・59人)</li> <li>・展示ミュージアムトーク (18回・延130人)</li> <li>・展示解説講座 (6回・延196人)</li> <li>・小学校地域学習展 (10/4～2/26・3,187人)</li> <li>・体験講座 (8回・延157人)</li> <li>・体験ワークショップ (12回・延91人)</li> <li>・古文書講座 (20回・延322人)</li> <li>・考古学講座 (5回・延100人)</li> <li>・歴史文化講演会 (3回・148人)</li> <li>・出前講座・講師依頼 (21回・延370人)</li> <li>・一般団体見学 (73件・998人)</li> <li>観光56件792人・デイサービス7件70人・その他10件136人</li> <li>・小・中学校団体見学 (5校6件・516人)・資料受け入れ (20件)</li> <li>・でばりい資料館(7校8件・758人)</li> <li>・なぞとき郷土資料館 (10/4～2/26・187人)</li> <li>・燻蒸器修繕 郷土資料館設置の燻蒸器の扉パッキン、給気フィルター、扉締め付けベアリング及び留め部品のパーツを交換した。</li> <li>・小学校郷土資料室の整備、武里小学校郷土資料室撤収</li> <li>・展示会の開催及び講座・講演会の実施を通じて、広く市民一般へ郷土「春日部」の歴史・文化を紹介した。あわせて、郷土資料の調査・収集を行い、資料の整理・仮目録作成を進めた。</li> </ul> <p>【第2次総合振興計画前期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="391 1272 1252 1377"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和3年度末 実績</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郷土資料館の利用者数</td> <td>6,845人</td> <td>10,504人</td> <td>13,500人</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値	郷土資料館の利用者数	6,845人	10,504人	13,500人	文化財保護課 (文化財課)
施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値							
郷土資料館の利用者数	6,845人	10,504人	13,500人							
埋蔵文化財発 掘調査受託事 業	<p>838千円</p> <p>小渕地内の宅地造成に先立つ埋蔵文化財の発掘調査1件を受託した。</p>	文化財保護課 (文化財課)								

基本目標	3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち
政策	5. スポーツ・レクリエーションを楽しめるまちをつくる
施策	1. スポーツ・レクリエーション活動の推進

#### 令和4年度の主な取組

- 市民全般にわたる心身の健康保持・増進とスポーツ・レクリエーション活動の推進を目的とし、多世代に対応した各種スポーツ教室の開催と世代・種目・技術レベルの多様性に対応する「総合型地域スポーツクラブ」の育成に向けて、市民への啓発と調査研究を推進するとともに、指導者の育成と資質の向上を図るため、様々な事業を展開した。その中で、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業が中止となったが、実施可能な事業と手法を検討し、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じ、参加者が安心・安全に参加できるイベントを開催した。
  - ・定員や種目など実施方法を検討し、「楽しく軽スポーツ体験教室」、「健康いっぱい球技教室」、「楽しくスポーツ体験教室」、「健康エアロビクス&いろいろエクササイズ教室」、「親子スポーツ教室(初回のみ実施)」の5教室を実施した。
  - ・ニュースポーツの普及として「健康づくりのつどい」、地域スポーツの推進として「地域巡回スポーツ教室」を実施した。
  - ・春日部市発祥の「フラバレーボール」を広く周知するため、広報かすかべ、HPでの紹介、出前講座での指導を実施した。
  - ・軽スポーツやパラリンピックの種目の普及・啓発を図るため、市内小・中・義務教育学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒を対象とした出張授業「軽スポピック」を実施した。
  - ・市内小学生にスポーツの素晴らしさ、体を動かす楽しさを体感してもらうイベントとして、連携協定を締結しているプロスポーツチームと連携を図り、「春スポふれんず2022」を実施した。
  - ・総合型地域スポーツクラブへの支援として、育成中のクラブに対する情報提供を行った。
  - ・スポーツ団体等への支援として、スポーツ協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員協議会へ補助金を交付した。
- 【参考：中止となった事業】
  - ・イベントや大会
    - 春日部大風マラソン大会、市民体育祭（地区大会）
  - ・民間等プール利用事業
  - ・小学校のプール開放
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、一部の施設に利用制限を設けた。
- 体育施設にかかる修繕については、利用者の安心・安全を最優先事項としており、市で実施した件数は総合体育館アリーナ床維持修繕や総合体育館空調設備更新修繕などの6件（前年度15件）を行った。
 

また、有料体育施設の100万円未満の修繕業務は指定管理者が実施しており、今年度は289件（前年度278件）を実施した。
- 令和3年6月に策定した、市全域における体育施設のあり方やウイング・ハット春日部周辺を新たなスポーツ・レクリエーション活動拠点として整備することを目的とする「春日部市スポーツ施設マネジメント計画」及び「春日部市総合体育施設整備基本計画」を推進し、検討を行った。

## 今後の課題

- 基本的な新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮し、参加するすべての方が、安心・安全に参加できる「スポーツ・レクリエーションの推進」を行う必要がある。
- 多様化するスポーツ・レクリエーション活動に対する市民のニーズや運動に対する意識の高まりがある中で、「いつでも・どこでも・いつまでも」スポーツ・レクリエーション活動に安心・安全に参加できる機会や場の提供を図る必要がある。
- スポーツへの関わり方が「する」、「みる」、「ささえる」と多様化する中、各世代のライフステージに合わせたスポーツ環境を整備するとともに、市民のニーズに即したスポーツ教室や体力づくり事業を実施する必要がある。
- 多様なレベルで楽しむことができるスポーツ・レクリエーション活動を普及し、市民の交流機会の拡大を推進するとともに、創意工夫により充実させた、さまざまなスポーツイベントの開催を奨励する必要がある。
- 世代、性別、障害の有無を問わず、だれもが参加して楽しめるスポーツイベントを支援し、地域にねざした生涯スポーツを推進していく必要がある。
- 従来のスポーツ団体（クラブ）に加え、地域住民が主体的にクラブの指導や運営に参画し、地域のだれもが、継続的にスポーツに親しむことができる「総合型地域スポーツクラブ」の設立と、市民への周知や支援策の研究・検討を進める必要がある。
- 市民体育祭については、より多くの市民が安心して参加できるように、基本的な新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮するとともに、創意工夫した種目の新設や健康増進等にかかる市民団体の発表の場の設定、地域コミュニティの推進にかかる種目の提供等を継続する必要がある。
- 市のスポーツ振興の推進役であるスポーツ推進委員の確保が必要である。
- スポーツ・レクリエーション活動における安全・救急対策を関係機関の協力を得ながら充実させるとともに、対応手順をマニュアル化し、緊急時の対処に備える必要がある。
- 体育施設の利用者数は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和の影響を受けて、令和3年度と比較し、増加した。また、建設から相当年数を経過した屋内外体育施設や体育設備品の老朽化に伴い、体育施設修繕や体育設備品の買い替えについての要望が多く寄せられている。これまで、安全性の確保を優先に部分補修等を行ってきたが、施設によっては大規模な改修等が必要であるため、体育施設の安全かつ有効な利用促進をより図っていく必要がある。
- 指定管理者による体育施設の管理運営が適切になされるよう、継続的な監視、密接な連絡と指導を今後も行う必要がある。
- 体育施設の維持管理及び総合体育施設（ウイング・ハット春日部周辺）の計画的な整備を推進する必要がある。
- 無料体育施設の管理については、利用者が安心・安全に利用できるように、適切に整備を促進していく必要がある。

## 評価

コロナ禍において、スポーツ・レクリエーション活動に係る多種多様な市民ニーズを踏まえ、市民が参加しやすい事業を展開していることは評価できる。

その中で、今後、事業実施にあたっては、市民が安心・安全に参加できるように、基本的な新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮すること、また、引き続き、市民が「する」、「みる」、「ささえる」など、様々なスポーツとの関わり方、楽しみ方を通して、味わうことができる「スポーツの感動」を多くの人々に広げ、スポーツ活動への参加意欲の喚起に努めていただきたい。今後とも、市民のスポーツ・レクリエーション活動を支援する体制づくりに積極的に取り組み、市民の健康づくりに資するよう、より一層啓発的な事業の推進に努めていただきたい。

体育施設については、基本的な新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮するとともに、体育施設の老朽化が進んでいる状況から、安全性を最優先として、指定管理者と連携を図り、計画的な整備を行っていただきたい。

総合体育施設（ウイング・ハット春日部周辺）の段階的な整備を進めるうえで、引き続き用地取得について計画的に行っていただきたい。

体育施設の整備については、利用者の安心・安全に配慮し、だれもが安心して気軽に運動ができる施設としていただきたい。

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)												
<p>体育総務事務</p>	<p>5,611千円</p> <p>スポーツ推進審議会(3回)、スポーツ教室(5教室)、地域巡回スポーツ教室(7地区)、健康づくりのつどい(7地区)、市民体育祭(34種目別大会)を開催し、市民への多種多様なスポーツ・レクリエーション活動の普及・推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により中止 市民体育祭(8地区大会、7種目別大会)</li> </ul> <p>【第2次総合振興計画前期基本計画の成果指標における目標及び経過】</p> <table border="1" data-bbox="403 622 1238 779"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和3年度末 実績</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ教室やイベントの満足度</td> <td>78.8%</td> <td>86.8%</td> <td>75.8%</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値	スポーツ教室やイベントの満足度	78.8%	86.8%	75.8%	<p>スポーツ推進課</p>				
施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値											
スポーツ教室やイベントの満足度	78.8%	86.8%	75.8%											
<p>スポーツ協会補助金</p>	<p>3,008千円</p> <p>スポーツ協会加盟団体の組織育成と活動への助成、各種競技会、市民体育祭種目別大会、春日部市スポーツ賞表彰式、研修会を開催するなど、市のスポーツ振興の推進に重要な役割を担っているスポーツ協会を支援することにより、市の生涯スポーツの普及・振興を図った。</p> <p>特に、春日部市スポーツ賞は、市内在住・在学・在勤の方々を対象に市のスポーツ振興・発展に貢献し、その功績顕著な方及びスポーツ界で優秀な成績を収めたものに対し、その栄誉を顕彰することを目的として授与している。</p> <p>【春日部市スポーツ賞表彰者数】</p> <table border="1" data-bbox="403 1294 1238 1451"> <thead> <tr> <th></th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ賞表彰者</td> <td>29団体 320人</td> <td>36団体 295人</td> <td>21団体 167人</td> <td>20団体 193人</td> <td>45団体 244人</td> </tr> </tbody> </table>		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	スポーツ賞表彰者	29団体 320人	36団体 295人	21団体 167人	20団体 193人	45団体 244人	<p>スポーツ推進課</p>
	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度									
スポーツ賞表彰者	29団体 320人	36団体 295人	21団体 167人	20団体 193人	45団体 244人									
<p>スポーツ推進委員協議会補助金</p>	<p>425千円</p> <p>役員会(5回)、企画委員会(6回)、各専門部会会議(18回)を実施し、市のスポーツ振興の推進役として、スポーツの推進のための事業に係る連絡調整及び指導者としての資質の向上を図った。また、スポーツ教室・健康づくりのつどい・地域巡回スポーツ教室等で、市民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を充実させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により中止 アウトドア教室 ※代替事業として、キャンプ教室を実施。</li> </ul>	<p>スポーツ推進課</p>												

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)												
レクリエーション協会補助金	2,415千円 各種大会、市民体育祭種目別大会、リーダー研修会、市レクリエーション大会を開催するなど、生涯スポーツの普及及び振興に重要な役割を担っているレクリエーション協会を支援することにより、市民へのレクリエーション活動の普及と生活文化の向上並びに明るい地域社会づくりの推進を図った。 令和4年度 事業数 130事業、参加人数 86,094人 (令和3年度 事業数 112事業、参加人数 3,469人)	スポーツ推進課												
スポーツ少年団補助金	1,677千円 各種研修会、部会別の種目別大会、市民体育祭種目別大会、運動適性テスト、親子スポーツのつどい、ミニ駅伝大会を開催するなど、市のスポーツ振興の推進に重要な役割を担っているスポーツ少年団を支援することにより、スポーツを通じた青少年の健全育成を図った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止 親子スポーツのつどい、ミニ駅伝大会  <b>【親子スポーツのつどい参加者数】</b> <table border="1" data-bbox="403 1084 1238 1187"> <thead> <tr> <th></th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>800人</td> <td>1,161人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	参加者数	800人	1,161人	0人	0人	0人	スポーツ推進課
	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度									
参加者数	800人	1,161人	0人	0人	0人									
大風マラソン大会実施事業	0千円 マラソン大会を通じて「春日部市」と「大風あげ」を広く全国に周知するとともに、市民のボランティア意識の高揚を図ることを目的に開催している。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止  <b>【大風マラソン大会 ランナーエントリー数】</b> <table border="1" data-bbox="403 1543 1238 1697"> <thead> <tr> <th></th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ランナーエントリー数</td> <td>10,413人</td> <td>10,779人</td> <td>8,577人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	ランナーエントリー数	10,413人	10,779人	8,577人	0人	0人	スポーツ推進課
	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度									
ランナーエントリー数	10,413人	10,779人	8,577人	0人	0人									
民間等プール利用事業	0千円 市と利用に関する協定を締結した民間等プールを利用する市民に対し、民間等プール利用料を助成することにより、市民にプール利用の機会を提供し、市民の健康増進及び体力の向上の促進を図ることを目的に実施している。 令和4年度 延べ利用人数 0人 (令和3年度 延べ利用人数 0人) ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止	スポーツ推進課												

※各事務事業の実績

事務事業	令和4年度実績 (事業費・事業の内容)	R4担当課 (R5担当課)																														
小中学校体育施設開放事業	<p>3,466千円</p> <p>市の生涯スポーツの普及・推進及び地域コミュニティの活性化を図るため、小中学校体育施設（体育館、校庭）について、学校教育に支障のない範囲で開放を行った。</p> <p><b>【体育施設開放状況】</b></p> <table border="1" data-bbox="403 521 1240 981"> <thead> <tr> <th></th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校庭・体育館 利用団体数</td> <td>8,164 団体</td> <td>7,294 団体</td> <td>3,767 団体</td> <td>5,455 団体</td> <td>8,388 団体</td> </tr> <tr> <td>校庭・体育館 利用人数</td> <td>250,708 人</td> <td>201,607 人</td> <td>100,975 人</td> <td>146,974 人</td> <td>241,001 人</td> </tr> <tr> <td>夜間照明施設 利用回数</td> <td>695 回</td> <td>626 回</td> <td>477 回</td> <td>463 回</td> <td>595 回</td> </tr> <tr> <td>夜間照明施設 利用人数</td> <td>41,035 人</td> <td>35,842 人</td> <td>26,941 人</td> <td>28,967 人</td> <td>38,381 人</td> </tr> </tbody> </table>		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	校庭・体育館 利用団体数	8,164 団体	7,294 団体	3,767 団体	5,455 団体	8,388 団体	校庭・体育館 利用人数	250,708 人	201,607 人	100,975 人	146,974 人	241,001 人	夜間照明施設 利用回数	695 回	626 回	477 回	463 回	595 回	夜間照明施設 利用人数	41,035 人	35,842 人	26,941 人	28,967 人	38,381 人	スポーツ推進課
	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度																											
校庭・体育館 利用団体数	8,164 団体	7,294 団体	3,767 団体	5,455 団体	8,388 団体																											
校庭・体育館 利用人数	250,708 人	201,607 人	100,975 人	146,974 人	241,001 人																											
夜間照明施設 利用回数	695 回	626 回	477 回	463 回	595 回																											
夜間照明施設 利用人数	41,035 人	35,842 人	26,941 人	28,967 人	38,381 人																											
体育施設運営事業	<p>307,208千円</p> <p>体育施設指定管理委託（196,499千円）、体育施設修繕8件（60,291千円）、体育施設除草業務3件（26,857千円）等を実施し、体育施設の管理、運営を行った。</p> <p><b>【第2次総合振興計画前期基本計画の成果指標における目標及び経過】</b></p> <table border="1" data-bbox="403 1243 1240 1346"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和3年度末 実績</th> <th>令和4年度末 実績</th> <th>基本計画 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市の有料体育施設の満足度</td> <td>93.4%</td> <td>93.3%</td> <td>98.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【市の体育施設の延べ利用者数】</b></p> <table border="1" data-bbox="403 1447 1082 1550"> <thead> <tr> <th>施策の成果指標</th> <th>令和3年度末 実績</th> <th>令和4年度末 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市の体育施設の延べ利用者数</td> <td>771,765人</td> <td>778,261人</td> </tr> </tbody> </table>	施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値	市の有料体育施設の満足度	93.4%	93.3%	98.1%	施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	市の体育施設の延べ利用者数	771,765人	778,261人	スポーツ推進課																
施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績	基本計画 目標値																													
市の有料体育施設の満足度	93.4%	93.3%	98.1%																													
施策の成果指標	令和3年度末 実績	令和4年度末 実績																														
市の体育施設の延べ利用者数	771,765人	778,261人																														

## 学識経験者による意見

### IV 学識経験者による意見 令和5年度（令和4年度対象）

教育委員会の点検及び評価を行うにあたって、客観性・透明性を確保するため、点検評価の結果等について、学識経験者3人をもって組織する春日部市教育委員会事務評価委員会から、次のとおり、ご意見をいただいた。

#### 1 教育委員会の活動

- ・令和3年度の対応を踏まえ、新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要な対策を講じながら、教育委員による各行事や研修会等への参加、また、対面による会議を開催し、円滑に教育行政を進めてきたことは評価できる。
- ・保護者や地域住民に教育委員会の活動や役割を周知し、より深い理解を得るツールとして教育委員会独自のホームページを作成していることは評価できる。

#### 2 教育委員会が管理・執行する事務

- ・議案等が、法令及び規則に則って適切に付議され、遺漏なく審議されたことは評価できる。今後も継続して取り組んでいただきたい。
- ・健全な学校生活を過ごすため、年々変化する教育環境において有意義な審議が行われたことは評価できる。
- ・協議が2件あり活発に意見交換が行われたことは評価できる。

#### 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

##### ①学校教育について

- ・新たな研究発表のスタイルとして GIGA スクールで配備された端末を使用し、オンラインでの集合型研究発表を行うスタイルを提示等、研究の成果が市内外に示すことが出来たことは評価できる。
- ・学校評議員、学校運営協議会委員等と学校の教育活動について協議を行うなど開かれた学校づくりを推進してきたことは評価できる。
- ・子どもたちにとって英語がより親しみやすく身近に感じられる環境の整備として ALT を年間を通して配置したことは評価できる。
- ・普通学級支援助手や特別支援学級助手を置き、担任の負担軽減ならびに子どもたち一人一人に目の行き届く教育環境を整備したことは評価できる。
- ・部活動の地域移行については多くの課題が山積している中、課題解決に向けて検討を続けていることは評価できる。
- ・教職員の負担軽減をはかるため、部活動指導員の増員を検討していただきたい。

- ・地域の人材、教育力、地域の伝統文化を積極的に取り入れたことで、地域に根ざした教育が実現出来た事は評価できる。
- ・それぞれの学校の特色や、子どもたちが今何に頑張っているか等明示され、保護者、地域の方々に学校教育の理解と協力得られるよう各学校のホームページを充実させたことは評価できる。
- ・不登校の子どもたちに春日部メソッドを活用し、学習の充実や、手厚いフォローをしていること、また、春日部メソッドが登校への啓発の一助となっていること、学校への復帰を十分に促していることは評価できる。
- ・「ヤングケアラー」について一人ひとりの状況に寄り添って対応が求められる中、専門家や市長部局の福祉部と連携し、全庁を挙げて取り組んでいる姿勢は評価できる。
- ・教育相談センターに専門的な臨床心理士、学校心理士、スクールソーシャルワーカーを配置し、各関係機関との連携を図っていること、また学校生活の不安や悩みの解消に向け、専門家を交えて「こころのサポートチーム」が組織されている事は評価できる。引き続き、関係機関等との緊密な連携を図りながら、問題の解消に努めていただきたい。
- ・教育相談センター事業の特別支援学級設置率が令和4年度も100%を達成したことは、これまで着実に特別支援教育に力を注いできた大きな成果と評価できる。今後も特別支援教育の一層の充実を図っていただきたい。
- ・大きな社会問題でもある、SNSの利用等を含めデジタルシティズンシップに取り組んでいただきたい。
- ・学校施設の修繕や長寿命化改修工事等の推進、全面的な小学校校舎トイレ改修事業が計画的かつ着実に進められ、児童生徒の安心安全を最優先に学校環境の改善が図られたことは評価できる。引き続き、計画的な学校環境の改善を推進していただきたい。
- ・令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒用アルコールをはじめ、サーキュレーター、空気清浄機等を導入し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の充実努めてきたことは評価できる。
- ・図書標準冊数が大幅に上回っていること。また、図書館支援員を増員していることは評価できる。
- ・小中学校全ての特別教室にエアコンが設置され、児童生徒の健康に配慮したものとなっていることは評価できる。今後、体育館の冷房設備を検討していただきたい。
- ・令和4年度から小・中・義務教育学校にAI型ドリルソフトを導入し、児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた個別学習の環境が整備されたことは評価できる。今後とも児童生徒一人ひとりの学習・進捗状況の確認に取り組んでいただきたい。
- ・国の地方創生臨時交付金を活用して給食費を据え置き、家庭の経済的負担を軽減してきたことは評価できる。
- ・給食の食物アレルギー検討部会を立ち上げ、食物アレルギーへの対応として、除去食

の提供に専用の食器を使用することを決定したことは評価できる。誤配を防止する観点からも有意義な決定であり、今後も安心安全な給食に向け必要に応じた改善等の取り組みを続けていただきたい。

- ・年間を通して安心安全な学校給食の運営の為、様々な消毒や点検、備品の買換え修理等が行われ、衛生管理がしっかりされている事は評価できる。
- ・食育への取り組みにより、地産地消の推進を図っていることは評価できる。

## ②社会教育について

- ・「放課後子ども教室」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、様々な工夫を凝らしながら開催し、登録児童及び実施教室が増加したことは評価できる。
- ・「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ（学童）」一元化へ向けた取り組みは評価できる。児童にとってよりよい居場所とすることができるよう連携の強化を図っていただきたい。
- ・包括的連携協定を締結している企業との共催でイベント等、体験型の活動が活発に行われたことは評価できる。
- ・社会教育の推進と充実を図る事業として市民アカデミーを開催し、教育講演会や小中学生による人権ポスターの展示、人権作文の発表を行ったことは評価できる。
- ・経年による老朽化や機能低下が進んでいる市民の学習の拠点である公民館、視聴覚センター、図書館などの施設修繕を計画的に実施し、学習環境を整備してきたことは評価できる。
- ・図書館については、電子書籍の拡充に努め、新たに電子書籍サービス「かすかべ電子図書館」の利用登録を行い、図書館や読書に対する興味関心を高めたことは評価できる。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じながら「図書館を使った調べる学習コンクール」などの事業を実施したことは評価できる。
- ・公民館事業等は、前年度に比べて事業も参加者も増えており、活発な事業展開が期待できる。引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を見極め感染対策に配慮しながら事業を展開していただきたい。
- ・令和4年度の市美術展覧会は、高校生世代の出品料を無料、出品数を1人1部門2点まで可能にすることで、若い世代の参加が増え、来場者数についてもおよそ550余名増加となったことは評価できる。
- ・教育委員会のホームページに「Web市展」をアップし好評を得たこと、3年ぶりに「ギャラリートーク」「ホワイエコンサート」を開催したことは評価できる。
- ・市展会場での高校生ボランティアの活動は異世代の交流が期待できる意義のある取り組みであり、今後も創意工夫を図っていただきたい。
- ・文化財活用の取り組みとして、3年ぶりに開催したシンポジウム－神明貝塚－の様子をかすかべ動画チャンネルに公開した、史跡のもつ価値や特徴を市内外、子どもか

ら大人まで広く周知するための取り組みは評価できる。

- ・郷土資料館では、4回の企画展が開催された。中でも「明治天皇と春日部」は大変興味深い企画であった。今後も魅力ある春日部を郷土資料館から発信していただきたい。
- ・ニュースポーツの普及として「健康づくりのつどい」等、高齢者の方も参加できる生涯スポーツの普及・推進を図ったことは評価できる。
- ・市と連携協定を締結しているプロスポーツチームの協力のもと、市内小学生がプロスポーツチームの選手やコーチたちと一緒にスポーツを行い、直接指導を受ける機会を提供するスポーツイベント「春スポふれんず 2022」を新たに開催したことは評価できる。このような取り組みを継続していただきたい。

#### 4 全体評価

- ・学校教育、社会教育共にオンライン等を活用して事業実施に努めたこと、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながらも数々の新規事業を立ち上げ、好評を得ていることは評価できる。教育の質の向上に取り組む姿勢が感じとれる。引き続き春日部市の子どもたちの未来につながる事業を推進していただきたい。
- ・令和3年度の経験や対応を踏まえ、学校教育、社会教育問わずに新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底しながら、その時々に応じた創意工夫を凝らしながら事業を展開していることは評価できる。今後も、ICT等を今まで以上に有効活用しながら一層の充実を図っていただきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症による不自由な3年間を経て、授業や会議、講座などオンラインで行えるように環境を整えたこと。環境の変化に柔軟に対応しながら多種多様な事業を実施したことは評価できる。今後も充実した教育活動を推進していただきたい。

春日部市教育委員会事務評価委員会

委員長	濱本	一
委員長職務代理者	金井	俊二
委員	白濱	容麗子

## 春日部市民憲章

わたしたちのまち春日部は 古利根川と江戸川が流れ  
豊かな自然のなかで 伝統 文化 産業を育んできた歴史のあるまちです

わたしたちは この先の時代に想いを馳せ  
だれもが住み良い 魅力あるまちを目指して  
ここに 市民憲章を定めます

- 一 環境にやさしく かけがえのない自然を守りましょう
- 一 心と体を健やかに 良識ある行動を心がけましょう
- 一 お互いを尊重し ともに助け合い 心かよう信頼を築きましょう
- 一 伝統と文化を大切にし 次の世代に引き継ぎましょう
- 一 広い視野で世界に学び 平和で夢のある未来をつくりましょう

そして  
このまちで  
ともに生きましょう

(令和3年1月1日制定)

## 令和5年度 教育委員会点検・評価報告書

発行 令和5年8月  
編集発行 春日部市教育委員会  
春日部市粕壁東三丁目2番15号  
電話 048-763-2443 (代表)